



INTEGRATED REPORT 2025

日東工器グループ 統合報告書





1.日東工器とは

企業スローガン・理念

Our Philosophy
日東工器の提供価値

Our Products
日東工器の製品は何に使われているか

Our User
日東工器の製品ユーザーとは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

技術で、人を想う。

私たちは、人を想う気持ちを大切にしています。

作業の現場や生活の中で、少しでも人がいきいきと何かに取り組めるように。

日東工器の「省力・省人化」の技術は、使う人の視点に立って、作業をよりスムーズにすることを手助けするものです。

この技術が、人に「時間や、こころ、体力の余裕」をもたらし、やがて、産業界の発展や、豊かな人生、社会貢献につながると、信じています。

これからも、人々の暮らしを支えていきたいから

技術で、人を想う。

企業理念

社 是

開発は企業の保険なり

社是にある「開発」には4つの意味が含まれています。

1. 社会に貢献する製品開発
2. 販売市場の開発
3. 人材開発
4. 組織管理体制の開発

社 訓

創意を発揚し技術を蓄積しよう
鋭気を涵養し活力を蓄積しよう
誠意を尽し信用を蓄積しよう

従業員の行動基準を示すものです。
職場は従業員の人格形成の場であり、
素晴らしい人生を送ってほしいという
願いを込めています。

経営方針

社会への貢献
従業員の幸福
会社の発展

1. 社会に役立つ価値ある製品を開発、製造、販売し
広く社会に貢献することを目指す。
2. 経営活動を通じ従業員とその家族が幸福になることを
目指す。
3. 「社会への貢献」と「従業員の幸福」を実現するために、
適正な企業利潤を追求し会社の発展を目指す。



日東工器の提供価値

私たち日東工器グループは
「省力・省人化」の技術で産業界の発展に寄与する製品を作り続けてきました。
これからも
省力・省人化の技術を生かして
環境への貢献や人手不足という問題の解決への
挑戦を続けてまいります。

1.日東工器とは

企業スローガン・理念

Our Philosophy
日東工器の提供価値

Our Products
日東工器の製品は何に使われているか

Our User
日東工器の製品ユーザーとは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

東北日東工器 おおぞそう工場

白河日東工器とメドテックが2024年3月合併し、「東北日東工器株式会社」として新たにスタートしました。2社を集約した新工場として2025年7月福島市におおぞそう工場が完成いたしました。「魅せる工場」をコンセプトに、国立競技場を手掛けた隈研吾氏と大手製造業の工場建築に実績豊富な芦原太郎氏が設計を担当しました。

P.15

撮影協力：マツイコーポレーション

INTEGRATED REPORT 2025

日東工器グループ 統合報告書

本PDFにおけるインタラクティブ機能について

☰ 目次ページへ移動します。

P.00 関連ページへ移動します。

📄 関連Webサイトにリンクしています。



CONTENTS

日東工器とは	企業スローガン・理念	01
	Our Philosophy 日東工器の提供価値	02
	Our Products 日東工器の製品は何に使われているか	04
	Our User 日東工器の製品ユーザーとは	05



日東工器の 価値創造ストーリー	Top Message	06
	日東工器の価値創造プロセス	10
	価値創造の軌跡	11
	創業以来続くイノベーション	12
	ビジネスモデルの特徴	13
	海外展開の歴史	14
	Special Content	
	東北日東工器 おおざそう工場がスタート	15



日東工器の サステナビリティ経営	事業セグメント概要	20
	日東工器のマテリアリティ	25
	中期経営計画 2026	28
	Sales Strategy 営業戦略	33
	Technology Strategy 技術戦略	35
	Management Strategy 管理戦略	37
	人的資本	39
	環境戦略	41
	ガバナンス	43
	役員一覧	47



データセクション	財務・非財務データ(ESG関連データ)	48
	事業拠点	49
	会社概要 / 株式情報	50



編集方針

本統合報告書は、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、当社グループの価値創造ストーリーをお伝えすることを目的としています。
今回は、当社グループについての理解を深めていただくべく、「当社グループらしさ」や「重要性」を意識して、できるだけ簡潔にお伝えすることを心がけました。
本報告書を通じて、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを深化させ、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

報告対象

日東工器グループ全体

報告期間

2024年度(2024年4月1日~2025年3月31日)
※一部当該期間の前後の活動に関する記述も含まれます。

参照ガイドライン

本報告書は以下のフレームワークおよびガイダンスを参考にしています。
●IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」

●経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」



将来の見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

1.日東工器とは

企業スローガン・理念

Our Philosophy
日東工器の提供価値

Our Products
日東工器の製品は何に使われているか

Our User
日東工器の製品ユーザーとは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

Our Products

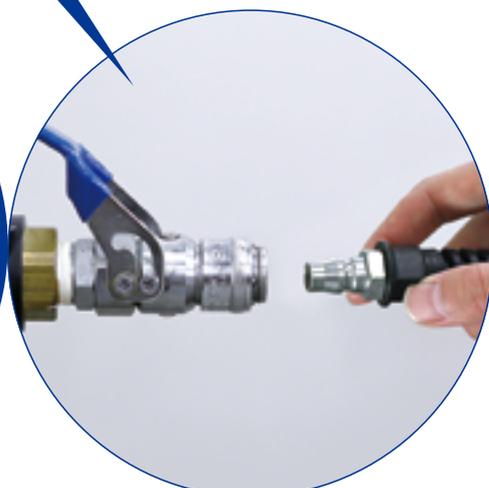
日東工器の製品は何に使われているか

現場における人々の作業をよりスムーズに

当社の製品は主に工場や建設・土木工事、医療機関などの“現場”で使われるものです。そのため、普段の生活で見かけることは少ないかもしれませんが、それぞれの現場では代えが利かない重要な役割を果たしています。

そこで、当社の代表的な製品を中心に主な用途や特徴をご紹介します。

空気・油・液体などのさまざまな
流体配管を素早く正確に着脱する



高圧水素ガスを安全に
充てんする



建設現場などで鋼材を
その場で加工する



鋼材や鋳物の
バリを取る



速度調整と高精度なトルク設定を
可能にし多様なねじ締めに対応する



空気のかでやさしく加圧し
血行を促進させる



医療機器・浄化槽などに
クリーンな空気を送り続ける



ドアをバネと油圧で
安全にゆっくり閉める



1.日東工器とは

企業スローガン・理念

Our Philosophy
日東工器の提供価値

Our Products
日東工器の製品は何に使われているか

Our User
日東工器の製品ユーザーとは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

Our User

日東工器の製品ユーザーとは

産業界全体に欠かせないもの

当社の製品は、産業界のさまざまな場所で使われています。自動車業界はもちろん、建設・土木、半導体や医療・美容・介護業界など、用途は多岐にわたります。そのため、特定市場に依存することなく安定した事業基盤を築いています。当社の製品が、各業界でどのように使用されているのか、用途の一例をご紹介します。



モビリティ



各種部品の
ねじでの
組み立て



成形部品の
製造装置の
冷却や駆動



溶接後の
後処理



部品の
バリ取り



リチウムイオン
バッテリー電解液
の接続配管



高圧水素燃料の
充てん



鉱業・エネルギー



鉱山などで使用され
る鋼材の加工



海洋の油圧機器配管の
接続・分離



高圧の油圧・ガス
配管の接続・分離



建設・土木



鋼材の
面取り加工



橋梁や建築物の
鋼材の穴あけ



建設土木機械の
油圧配管



溶断機器の
各種ガス配管



工場での
エア配管



ドア開閉用の
ドアクローザ



医療・美容・介護



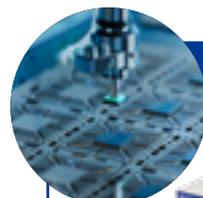
医療用吸引器



エアマッサージ器



医療機器・美容機器の
空気圧源



電気機器・化学・半導体



電気電子機器の
ねじ締め用



装置駆動用の
空気配管



コンピューター
の冷却配管



半導体検査装置
の温度調整用
配管



高純度薬液の
搬送容器の
接続配管



薬液・洗剤・
インクなどの
搬送ポンプ



水産・食品・住宅



食品業界などで使用
する分解洗浄可能な
タイプの継手



農業用水・海水などを
くみ上げるポンプ・
ホース用の継手



住宅用浄化槽・
養魚・活魚などで
使用するブロウ



1.日東工器とは

企業スローガン・理念

Our Philosophy
日東工器の提供価値

Our Products
日東工器の製品は何に使われているか

Our User
日東工器の製品ユーザーとは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞそう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

Top Message

信頼の礎を一層揺るぎないものに。
“人”と“技術”の新拠点で深化する、
唯一無二のモノづくり。

日東工器株式会社

代表取締役社長 小形 明誠

最新鋭の工場が支える持続可能な成長

2025年7月、福島県福島市に当社グループの新工場が完成しました。これは、当社の中長期成長戦略を象徴する極めて重要な取り組みであり、グループの持続的発展に向けた新たな基盤となるものです。これまで当社は、白河工場（白河市）とメドテック工場（山形市）の2拠点で、主に機械工具や建築機器などの製造を行ってまいりました。しかし、両工場ともに築50年を超え、建物の老朽化が著しく進んでいました。生産の自動化・効率化を図るためにも2工場を統合し、最新鋭の技術を導入した新工場を建設することを決断いたしました。





新工場の立地として福島市を選定した理由は、白河市と山形市の間に位置し、両工場の従業員が通勤可能な範囲であったからです。新工場には最新鋭の設備が整います。しかし、大事なのは熟練工が蓄積した製造のノウハウをそこで生かせることです。だからこそ私には両工場の従業員全員が新工場に移って活躍していただきたいという気持ちがありました。福島市に住みたいと考える従業員には社宅を提供したり、福島市に協力を仰ぎ、バス路線を延伸していただくことで、従業員の負担を最小限に抑える環境を整えました。実際に多くの従業員が新工場働き、最先端の設備とこれまで培ってきた独自のノウハウを融合させることが可能となりました。

また、当社製品の実証実験を自社内で行える環境を整備しました。製品開発と現場のフィードバックを直結させることで、より市場ニーズに即した製品の創出が可能になります。さらに、当社はSDGsへの取り組みも重要な経営課題と捉えています。環境に配慮した生産体制の構築を通じて、地域社会とともに成長する企業を目指してまいります。

栃木とタイの工場と連携し、グループ全体としての生産性および品質のさらなる向上に取り組んでいます。これにより、お客様の満足度向上と持続可能な事業運営を実現していきたいと考えています。

創業以来の理念を受け継ぎ 省力・省人化技術で社会に貢献する

日東工器グループは1956年に東京都大田区で創業して以来、「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」をテーマに独創的な製品の開発・製造を続けてきました。私たちは世界各地の多様な使用環境や法規制に対応するため、きめ細かな製品開発を重ね、安心・信頼いただける品質を提供しています。製品はグローバルに展開されており、顧客サービス、技術サポートを通じて、お客様の多様なニーズにお応えしています。

当グループの特徴は、自動車・鉄道・船舶・航空機業界といった重工業分野はもとより、医療や生活環境といった人々の暮らしに直結する領域まで、製品が広く活用されている点にあります。これは、創業者である故・御器谷俊雄会長が掲げた社是「開発は企業の保険なり」、そして経営方針である「社会への貢献」「従業員の幸福」「会社の発展」が、製品と企業文化の中に深く根付いている結果だと考えています。主力製品のひとつである迅速流体継手「カプラ」は、その高い信頼性と技術力により、市場において圧倒的なシェアを獲得しています。また、「アトラエース」や「ジェットタガネ」といった機械工具製品においても高いシェアを維持しており、

これらはいずれも、他社には真似できない開発力、社会課題の解決に資する技術力によってもたらされたものと自負しています。

積極的な開発と安定的な経営の両立によって築かれた堅実な財務基盤も、当社の大きな強みの一つです。

将来の不確実性や有事の際においても、従業員とその家族の生活を守る体制を整えることを、私たちは経営の責任と捉えています。例えば、1990年代後半のア



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおざそう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



ジア通貨危機、2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災など、社会や経済が大きく揺らいだ局面でも、当社は内部留保を活用し、従業員の給与・賞与の支給を継続してまいりました。他社ではボーナスカットや雇用不安が広がる中、日東工器では人を守る経営を貫いてきました。これからも創業以来の理念を継承し、省力・省人化の技術を通じて、社会的課題に正面から向き合っています。



6つのマテリアリティで サステナビリティ経営を推進

「社会への貢献」と「従業員の幸福」を実現することで、「会社の発展」を目指す。これを実践することは、すなわち社会のサステナビリティの実現と当社の持続的な成長を両立させることと同義であると考え、真摯に取り組んでおります。2023年からはサステナビリティの体制を一層強化し、経営戦略の重要な柱として位置づけています。

その一環として2023年4月にサステナビリティ推進部を新設し、同年5月には取締役会の諮問機関としてサステナビリティ委員会を設置しました。委員会は社長である私が委員長を務め、社外役員を中心とした5名の委員で構成され、テーマに応じて専門的な見識を持たれる方も招聘し、活発な議論を行っています。サステナビリティ基本方針の策定や中長期の重要課題であるマテリアリティの特定、具体的なアクションプランの検討、情報開示に関する審議などが主な活動内容です。「製品」「環境」「人材」「ガバナンス」「ステークホルダーとの相互理解」「サプライチェーン」を主とする6つをサステナビリティにおけるマテリアリティとして特定し、中期経営計画2026や単年度の事業計画と連動させながら、戦略的かつ継続的に取り組んでいます。

「製品」では、従来からの省力・省人化に加え、今後の深刻な人手不足に備えた自動化製品の開発を加速させています。人の負担を減らす自動化を、着実に進めていく考えです。

「環境」への対応は、事業活動を通じた地球環境への貢献を念頭に置いています。汚水の浄化を行うためのポンプや、燃料電池自動車にも使われる「カブラ」などのさまざまな製品を、世界中のお客さまにご使用いただけるよう努め、環境保全と温室効果ガスの抑制に一役買っています。また、上場企業への開示義務が予定されている温室効果ガスの見える化や削減に向けた、カーボンニュートラルへの取り組みなども行っています。

「人材」は、日東工器グループにとって最も重要な経営資源のひとつです。従業員が長く安心して働き続けられる職場環境を整備することを重視しており、福利厚生を含めたさまざまな制度の充実を図っています。当社には、与えられた職務に真摯に向き合う素晴らしい社風が根付いており、社員一人一人が十分に力を発揮できる環境を整えることが、組織全体の活力向上につながると考えています。

「ガバナンス」の観点では、内部統制の見直しやコンプライアンス教育を継続的に推進しています。情報入力体制の強化やチェック機能の再構築を行い、

1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



オペレーションエラー防止に向けた対策を実施しました。今後は、業務の自動化や標準化も視野に入れ、より強固なガバナンス体制の構築を目指していきます。

「サプライチェーン」においては、安定的な部品調達と製品供給体制の維持が社会的責任の一環であると考えています。当社の製品はモノづくりや医療現場の機械に組み込まれており、お客さまの生産活動や安全の確保に欠かせないものとなっています。社会の基盤を支える分野で活用されていることを踏まえ、継続的な製品供給を行うためにも、協力工場や流通パートナーとの関係強化を進めています。また、協力工場に対してもカーボンニュートラルの取り組みを共有させていただくことで、サプライチェーン全体の持続可能性を高めてまいります。

信頼の蓄積 社長としての使命

経営方針そのものがサステナビリティ基本方針と直結しており、経営活動を通じてこれを具現化することが、日東工器グループとしての企業価値を高めると考えています。顧客、従業員、株主をはじめとする全てのステークホルダーの皆さまに持続的な価値を提供する

ために「ステークホルダーとの相互理解」をマテリアリティの一つに特定しました。

私は7年前に社長に就任して以来、従業員一人一人が真摯にモノづくりやサービス提供に取り組む姿を目の当たりにし、この企業文化に強く共感してきました。「カプラ」や「アトラ」など日東工器ブランドならではの製品や、日東工器グループでしか得られない価値を常に提供し、日東工器を好きになっていただけるステークホルダーの皆さまを今まで以上に増やすことが私の使命です。国内外の展示会などにおいて「日東工器が好きだ」とおっしゃってくださるお客さまの声を伺う機会も多く、こうした声が私たちの励みとなっています。

また、社会課題への対応を通じた貢献も重要な経営活動の一つです。新型コロナウイルス感染症が流行した際には、大田区の地元企業や従業員、ご家族を対象に、日東工器本社でワクチンの職域接種を実施し、当グループを育てていただいた地域社会に貢献する機会となりました。

こうした取り組みは、社会に対する当社の責任を果たすものであり、従業員の誇りにもつながっています。このような活動を通じて、企業としての信頼を高めるとともに、株主の皆さまにも持続的成長への期待と共感を持っていただけるよう努めてまいります。財務的な価値に加え、非財務的価値の創出を通じて、日東工器



グループはこれからもステークホルダーの皆さまに愛され、信頼される企業であり続けたいと考えています。

私たちの製品は、品質と安全が求められる現場で使用されるものなので、お客さまからの信頼を積み重ねていくことが何より重要です。「築城三年、落城一日」の言葉にあるよう創業から70年近くにおよぶ信頼も、失うときは一瞬です。現状に甘んじることなく、努力と改善を続け、確かな品質と誠実なモノづくりを通じて、社会の期待に応え続けてまいります。

1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



日東工器の価値創造プロセス

産業界の省力・省人化と自動化、そして地球環境に貢献する

当社はこれまで、社是「開発は企業の保険なり」の精神の下、飽くなき改善を重ね、高品質の省力・省人化製品を、幅広いユーザーへと届けてきました。
環境問題への意識が高まり、人手不足が深刻化していくなかで、当社が生み出す省力・省人化という価値は、相対的に重要度が高まると考えています。

組織としてこれを追求し、社会への貢献と従業員の幸福を目指し、結果として会社が発展する。創業者の御器谷俊雄が掲げた経営方針をグループ一体となって体現していきます。



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス
価値創造の軌跡
創業以来続くイノベーション
ビジネスモデルの特徴
海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

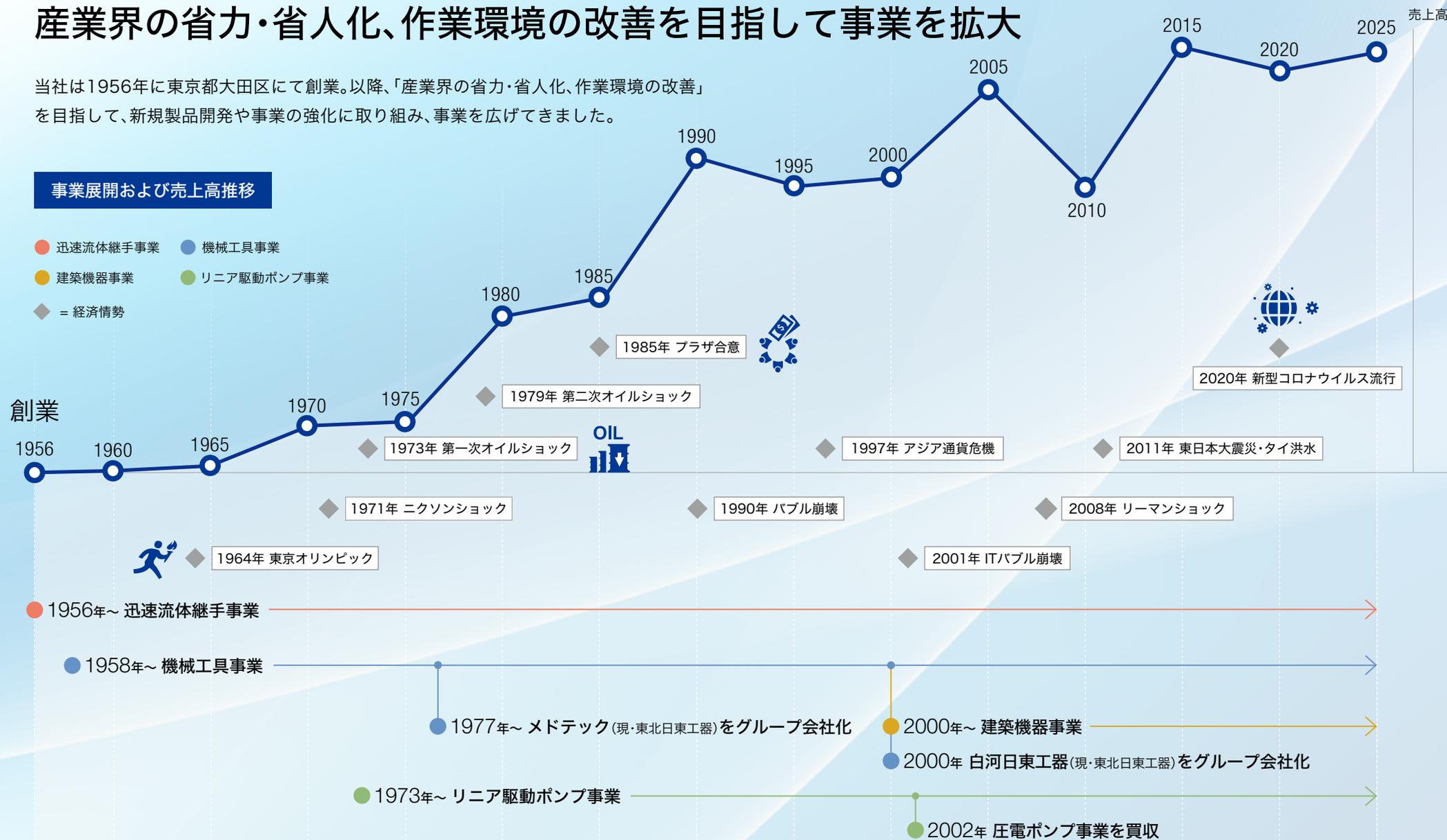
4.データセクション

価値創造の軌跡

産業界の省力・省人化、作業環境の改善を目指して事業を拡大

当社は1956年に東京都大田区にて創業。以降、「産業界の省力・省人化、作業環境の改善」を目指して、新規製品開発や事業の強化に取り組み、事業を広げてきました。

事業展開および売上高推移



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞら工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



創業以来続くイノベーション

製品開発に見る、日東工器の進化

今から70年前、日東工器は小さな住居の一角で2人からスタートした企業です。その長い歴史を支えてきたのは、常に「時代の先を読む力」が生み出してきた数々の製品や事業活動です。

世界中に普及した「カブラ」 SPカブラ、ハイカブラ®

日東工器を代表する迅速流体継手「カブラ」。SPカブラはソケット・プラグどちらにも自動開閉バルブを内蔵し、幅広い流体を流すことができる。「ハイカブラ」は空気用としてソケットのみに自動開閉バルブを内蔵し、用途に適したシンプルで堅牢な構造となっている。SPカブラは1956年、「ハイカブラ」は1964年に発売開始。SPカブラからスタートした「カブラ」はその後25,000種類の製品が生み出され、日本国内だけでなく世界へ普及している。



「SPカブラ」着想の原点 エアマイクロメーター

空気の圧力差を利用し、1,000分の1ミリ単位で内径・外径などを測定できる高精度な測定器「エアマイクロメーター」を東京工業大学精研(当時)の協力を得て、御器谷俊雄が開発。この装置は、ディーゼルエンジンのシリンダーなどの摩擦形状の測定器として、全盛期の旧国鉄技術陣も使用した。このエアマイクロメーターのオイル充てん用の付属アタッチメントがSPカブラの原型となった。



多様な分野へ貢献した真空ポンプ リニア駆動ポンプの製品化

リニア駆動ポンプは、1973年11月、製品化に成功。コンプレッサや真空ポンプとして、オイルレスでクリーン、低作動音、長寿命などの特徴を備える。医療機器、分析機器、美容機器、泡風呂、浄化槽用「メドプロフ」や食品など、独自の技術が幅広い分野へ普及している。



新たな製品拡充を目指して M&Aによる事業拡大 Delvo®

2000年4月白河デンセイ(現・東北日東工器)を買収。電動ドライバと建築機器(ドアクローザ)の事業が日東工器に加わり、省力・省人化製品として新たな仲間となった。電動ドライバは「デルボ」の商標で、世界の組立製造現場で活躍している。ドアクローザは、防火扉の「オートヒンジ」や福祉施設や病院の引戸用クローザなど、お客さまのニーズにあった製品を揃えている。



数々のヒットを記録したドリルプレス アトラ®シリーズの進化

1958年、携帯型磁気ドリルプレス「アトラ」を発売。電磁石で固定しながら、鋼材に穴あけをする電動工具として建設、土木現場で活躍している。世界の経済成長や技術の進化とともに、「アトラ」は多種多様なバリエーションとなった。自動化した「QAシリーズ」、軽量で狭い箇所での使用に適した「LOシリーズ」、リチウムイオンバッテリーを採用した「CLOシリーズ」など、「アトラ」はお客さまのニーズを捉えて日々進化している。



受賞歴も華々しい空気式高速多針タガネ ジェットタガネ®

空気式高速多針タガネ「ジェットタガネ」は1962年に発売。高速で往復する硬鋼線ニードルが加工物の表面形状に追従しながら、固着物を剥離する。主な用途は、溶接後のスパッタ落とし、サビ落としなど。1965年PM優秀製品賞、1989年発明大賞池田特別賞を受賞。



未来のエネルギーへ貢献する 燃料電池自動車向け「カブラ」

燃料電池自動車は、高圧水素を燃料として電気を発生させ走行する。その燃料電池自動車の世界初の市販車に、日東工器が開発した水素充てん用迅速流体継手「HHVカブラ」が採用された。また「HHVカブラ」は、水素ステーションにおいて、高圧水素ガスを車へ供給する継手として、「カブラ」が広く導入されている。



医療分野への新たな価値提供を MEDOブランドの確立

メド産業の吸収合併にとまない、「MEDO」はリニア駆動ポンプを組み込んだ医療機器のブランドとして再スタートした。エアマッサージ器「メドマー」シリーズに加え、携帯型吸引器「キュータム」を発売。MEDOブランドを通じて日東工器は医療機器で新たな価値をお客さまへ提供する。



※MEDO…Mikiya Engineering Design Organizationの略

1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



ビジネスモデルの特徴

開発は企業の保険なり

社是である「開発は企業の保険なり」の精神にのっとり、製品開発、生産技術の開発、市場の開発、人・組織の「開発」を続けてきました。

真にお客さまのためになる省力・省人化製品を届け、経営方針を体現し続けるためにそれぞれの機能の飽くなき改善と、全体最適とを追求し続けています。

お客さまの生の声を把握

代理店・販売店さまと協働で開催する展示会である「アタックフェア」や、キャラバンカーに製品を搭載して行うユーザー訪問などを通じて、ユーザーが抱える課題を聞く仕組みを構築しています。



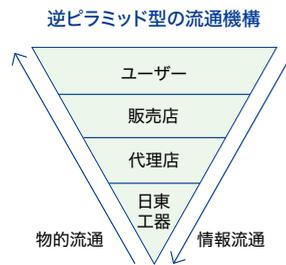
環境に配慮した調達

当社は2004年にISO14001を主要拠点で取得。早くから環境への高い意識を持って事業運営に取り組んでいます。購買においても、グリーン調達や製品含有化学物質の調査管理を徹底するなど、環境に配慮した活動を行っています。



きめ細かな販売網

当社製品をより多くのユーザーにお届けするために、地域のお客さまのことを熟知した代理店・販売店さまのご協力を得て、効率的かつ速やかにお客さまへ製品をお届けする販売網を構築。6,000店を超える加盟店を誇る「日東会」はその要です。



Business Model



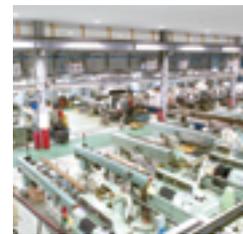
真にお客さまのためになる高品質かつ独自の製品開発

「技術で、人を想う。」は当社のスローガンであり、開発の基本となる思想です。ユーザー視点に立ち、徹底的に品質にこだわる。そのための挑戦は恐れません。蓄積した流体力学、材料工学、機械工学、電気工学、デザイン工学など多種多様な技術と、充実した測定・分析機器や試験装置を徹底活用し、世界中のお客さまの満足に向けた開発を行っています。



多品種少量生産を高效率に行う生産体制

当社の製品は、「カプラ」だけでも25,000種類を超える品種数があります。これは、お客さまの満足に向けて、新たな市場への挑戦を続けてきた結果です。これを効率的に生産するために、独自の生産技術で、生産設備の自動化や工程の改善を常に追求しています。生産体制の変化を恐れず、進化を続けています。



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

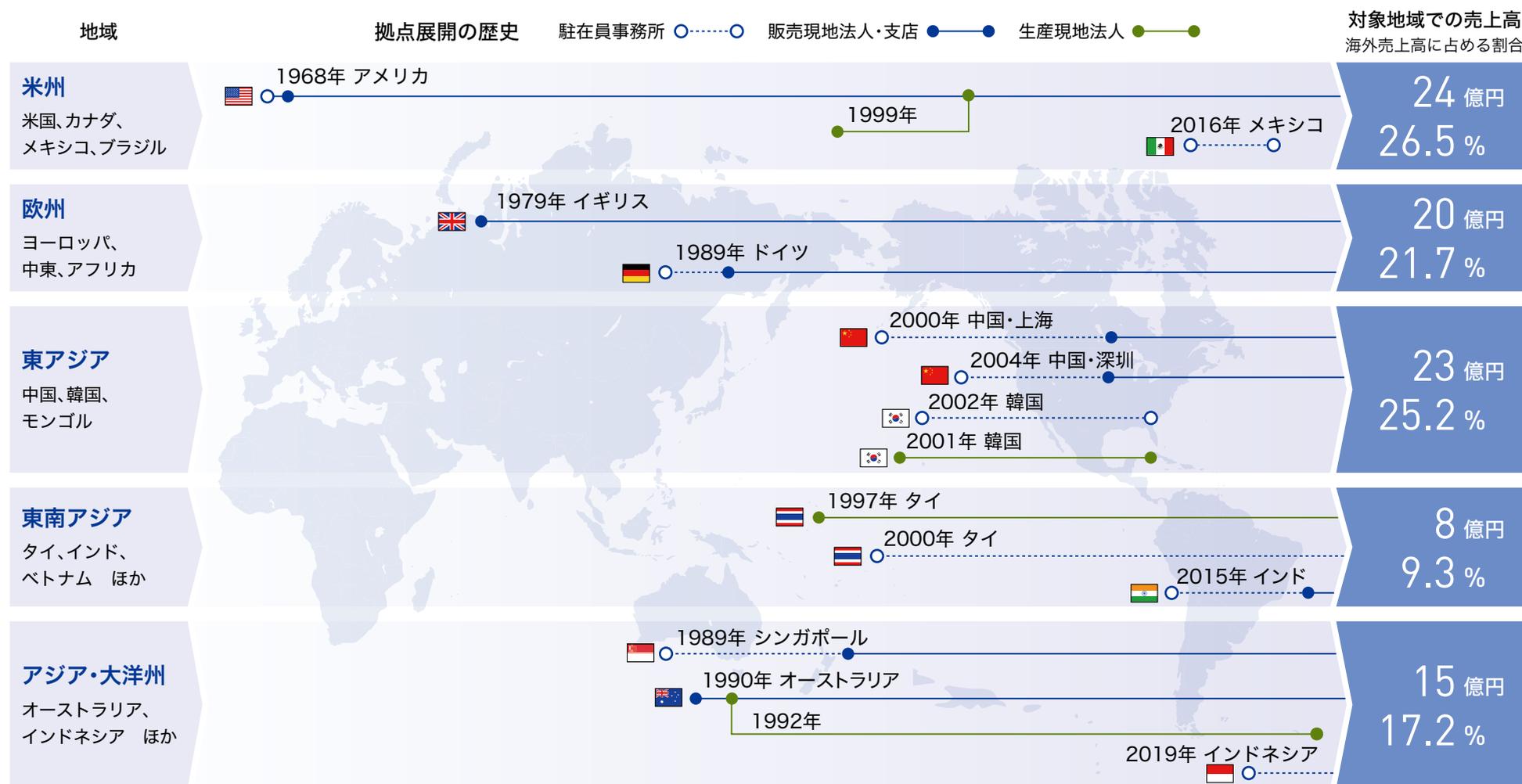


海外展開の歴史

技術を求めて海外へ。世界中のユーザーに製品を届ける

創業から10年余にあたる1968年当時は、まだアメリカと日本の技術格差が存在した時代でした。当社は、より先進的な技術を取り入れ、より多くの人に製品を届けるべく、1968年、リサーチを目的とした駐在員事務所をアメリカに設立。以降、世界各国で現

地代理店と手を組んで拡販してまいりました。2024年9月にはインドの駐在員事務所を現地法人化しました。当社全体の売上高に占める海外売上高比率は33.9% (25/3期実績)。今後も海外市場に向けて当社製品を拡販してまいります。



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞら工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおざそう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

Special Content

モノづくりの革新を担う、新たな挑戦の拠点

東北日東工器 おおざそう工場がスタート

東北日東工器 おおざそう工場が、2025年7月、福島市にて稼働を開始いたしました。

「魅せる工場」をコンセプトとする美しい工場には、最新の自動化設備を導入し

生産効率を大きく向上させました。また、バリアフリー化やオイルミスト除去などにより

安全で働きやすい環境も実現しています。人と環境にやさしいモノづくりを目指す工場について、

東北日東工器 代表取締役社長の千葉がご説明いたします。

撮影協力：マツイコーポレーション

東北日東工器の主な製造製品

デルポ®

オートヒンジ

アトラ®





1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞそう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

バ「デルボ」です。日東工器のロングセラー製品を多く扱うため、生産効率の向上が、グループ全体の収益率改善に大きく寄与する重要な生産拠点です。

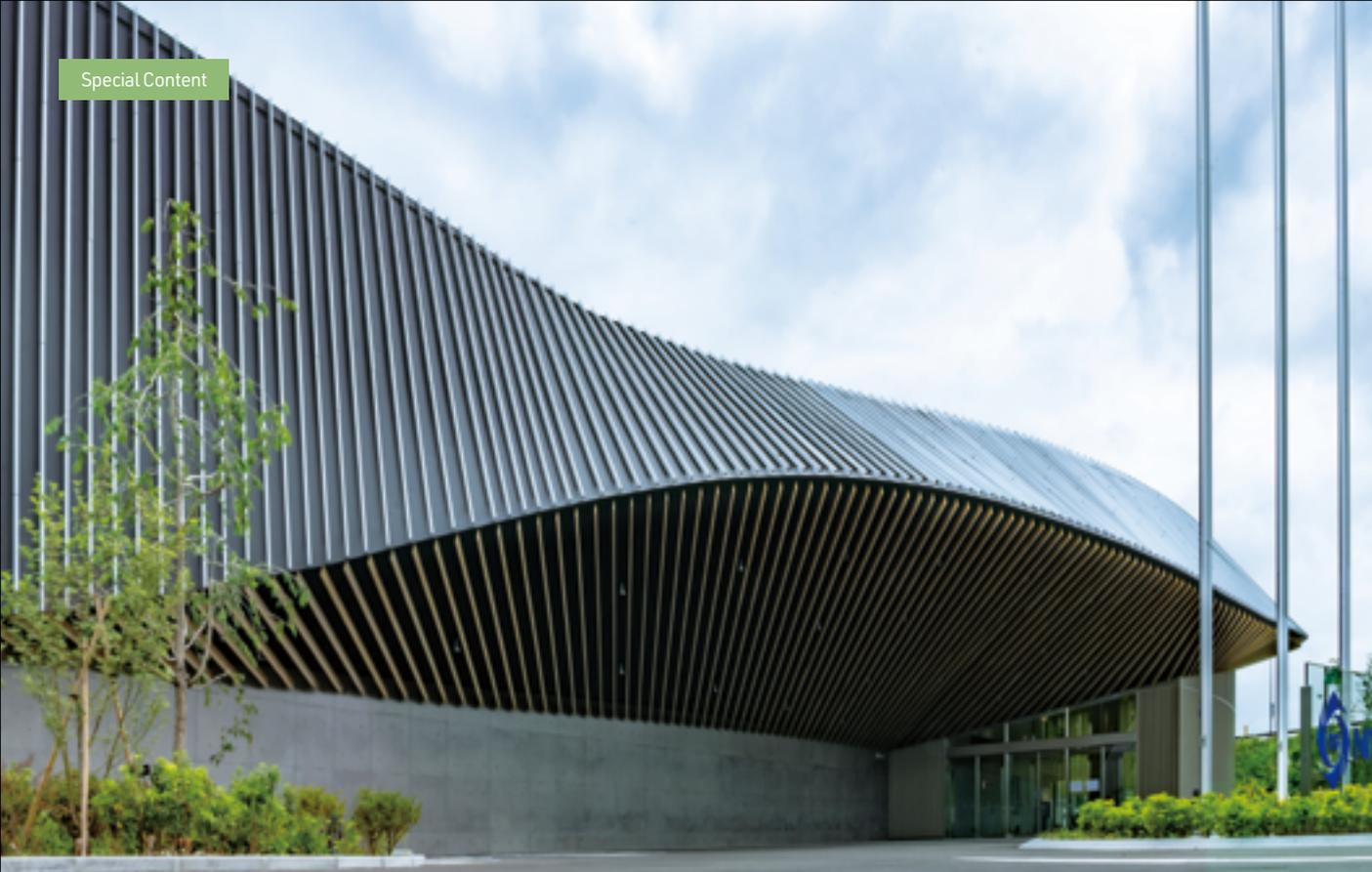
ファクトリーオートメーションの強化と柔軟な生産体制の構築

おおぞそう工場は多品種・小ロットの製造が中心のため、部品点数が多く、段取りに手間がかかることが多い現場です。その改善策として、産業用ロボットを活用した自動化システムを導入すること



東北日東工器株式会社 代表取締役社長
日東工器株式会社 専務執行役員 技術統轄

千葉 隆志



建物の正面外観(ファサード)

豊かな自然と調和する「魅せる工場」

機械工具や建築機器を製造していた、白河日東工器(白河市)とメドテック(山形市)が2024年3月1日付で合併し、社名を「東北日東工器株式会社」へと変更いたしました。2社を集約した新工場は、2025年5月30日福島市に竣工し、同年7月から生産を開始しています。場所は、東北中央自動車道 福島大笹生インターチェンジの脇に位置するため、高速道路から工場全体

の外観を眺めることができます。その立地条件を生かし、「魅せる工場」をコンセプトとして、国立競技場を手掛けた隈研吾氏と大手製造業の工場建築に実績豊富な芦原太郎氏が手掛けました。建物の顔となっているファサードは、周囲の豊かな自然との調和を重視したデザインで、一見して工場とは思えない優しい雰囲気があります。主要な製造品目は、鋼材加工用の機械工具や、住宅から大型施設までさまざまな大きさの扉を安全に閉めるドアクローザ、電子機器や自動車部品の組み立てに活躍する電動ドライ



で、効率化を推進しています。導入事例の一つのFMS(Flexible Manufacturing System)は、多品種少量生産に対応できる生産システムです。マシニングセンタといわれる複合加工機の稼働中にも、次の加工段取りをロボットが自動でセッティングするため、効率化と稼働率の向上に大きく貢献します。部品のピッキングでは、最新の自動倉庫システムと10台近くの無人搬送車が連動することで、膨大な部品の管理と配送を自動化しています。作業負担の軽減だけでなく、加工・組立ラインにおける人の移動を最小限に抑える取り組みが進行中です。検査工程では、

画像検査システムが良品判定をしているので、検査の完全自動化も視野に入ってきました。

また、機械の不具合による生産停止を未然に防ぐ、予知保全体制も整備しています。機械の振動・音・温度などをセンサーで常にモニタリングし、早期に異常を発見することで稼働の安定性を高めます。

これら外部システムの活用だけでなく、日東工器の自動機・ロボット対応製品を現場で使用することで、開発陣へのフィードバックを強化しています。「バリ取り自動化システム」や電動吸着ハンド「e-VEE」など、お客さま目線での評価が改良や新製

品開発へつなげるため、実験拠点としての側面も併せ持っています。

生産人口が減少している社会では、製造の「自動化」は大きなテーマです。無人稼働時間の延長による生産キャパシティの増強を進め、いずれは夜間・休日の完全自動運転体制の確立を目指します。

生産拠点同士の経験と知見の共有も、私たちの重要な任務です。日東工器グループでは、工場間の技術交流会を定期的を実施することで、技術力の底上げを図っています。将来的には各工場で主要製品の生産を分担・代替できるよう整え、リスク分散と柔軟な

工場内観



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション



工場内作業風景

生産体制を構築していかなければなりません。おおぞそう工場で積み上げる自動化の知見は財産です。栃木日東工器やNITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND)にも共有することで、グループのBCP(事業継続計画)対策にも貢献できます。

DXによる「見える化」とコスト構造の刷新

生産拠点の集約により、やむなく退社を選ばれた従業員も多くなりました。現在の従業員数は統合前よりも減っていますが、おおぞそう工場には新たに多くの人が集まってくれています。デザイン性に優れた建屋をはじめ話題性の高い工場は、非常に注目を集めています。「地元の福島市にできた工場で働きたい」という方も多く、新卒やキャリアからの応募も増加傾向にあります。人が減った部分は、自動化や業務



の見直しによる効率化で補えるよう、従業員一丸となってムダの削減に取り組んでいます。日東工器と比較すると、まだまだアナログな業務が多いので、利益率改善の契機と捉えDXも推進しています。その教育にも力を入れてきたため、成果が随所で上がってきています。例えばサプライチェーン上の部品の流通などをリアルタイムでの把握を可能にすることで、生産リードタイムの短縮を目指しています。一方で、生産計画上のリードタイムが縮まることのメリットが、組立や部品加工の現場には伝わりにくいという点もあります。DXの有効性が実感されづらい側面があるので、成果事例を共有しながらメリットを伝え、意識改革も並行して積極的に推進していきたいと考えています。

建物および生産機械などの設備投資については、資材価格の高騰により当初の想定を上回るコストが発生しました。建物は30年以上の償却期間を前提と



した長期資産ですが、生産機械などの設備投資については生産効率を向上させ、早期の費用回収を目指しています。これまで確立してきた強固なサプライチェーンとのバランスを取りながら、より効率的な生産体制への移行とコストの最適化を図ってまいります。

地域に根ざし 安心・安全なモノづくりを追求する

おおぞそう工場では、地域との関係性構築が着実に進んでおり、特に雇用面では良好な成果を挙げています。近隣の特別支援学校からは2年連続での採用を実現しており、地域雇用の創出と社会的包摂の推進を両立する取り組みに努めています。

「道の駅ふくしま」に隣接している立地の良さもあるため、同施設との連携を通じて、当社ならではの地



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞそう工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

域イベントの実施も模索中です。工場前には観光道路「フルーツライン」が走り、沿道には観光農園が点在しています。こうした農園の多くでは高齢化が進んでいるため、収穫作業の支援などを通じた地域貢献活動も検討しています。

また、当社は工場運営において、従業員の「安全」と「健康」を最優先に掲げています。QCD(品質・コスト・納期)の追求は、安全と健康が確保されてこそ実現可能であるとの認識のもと、全従業員にその重要性を繰り返し周知しています。

作業環境については、例えばオイルミストのリスクに対して、国の基準を上回る厳格な社内基準を設け、環境管理と従業員の意識づけを徹底しています。

これは、単なる制度面での対策にとどまらず、「クリーンな職場から、高品質な製品をお客さまに届ける」という理念のもと、企業文化の一環として根付かせる取り組みでもあります。

象徴的な取り組みの一つとして、おおぞら工場ではユニフォームを白にするという方針が初期段階から掲げられました。これは、「白」であることで作業時の汚れや環境の異常を即座に把握できるようにするためであり、工場全体を清潔で整った状態に保つ意識の浸透を意図しています。最終的には実用性も考慮し、上着は白、ズボンは黒で色を分けたユニフォームが採用されました。清潔で安全な職場づくりを推進しています。

加えて、安全面への配慮も徹底しています。工場内では安全教育推進のほか、月に一度安全パトロールを実施しリスク箇所を是正しています。すべての従業員が「安全は自分ごとである」という意識を持てるよう、継続的な教育と情報共有をしています。労働災害のゼロを目指して事故の未然防止に取り組み、安全・安心な職場環境づくりを強化しています。

生産効率の向上や働きやすさ、従業員の安全を最優先に地域との融合。さまざまな想いや技術を凝縮した東北日東工器の新工場を舞台に、日東工器グループは世界に誇れるモノづくりを発信していきます。ぜひ、ご期待ください。

Column

日本の工場にはなかった建築を 建築家 隈研吾

大学時代の友人、小形君(日東工器 代表取締役社長)から突然連絡があり、「福島の工場を設計してほしい」という、まさかの依頼に驚きました。私にとって初めての工場設計。

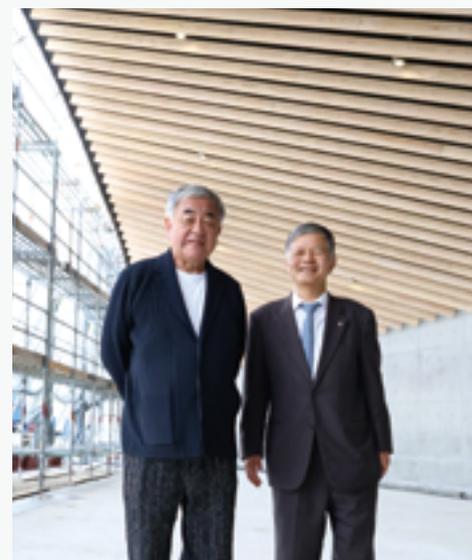
戸惑いもありましたが、「従業員が誇りをもち、気持ちよく働ける場所にしたい」と語る小形君の思いに心を動かされ、福島を訪れました。

現地ですぐ感じたのは、自然の豊かさです。特に山の景色が見事で、山肌の細部までくっきり見える。高速道路からもよく見える立地で、建物は360度全部を見渡せます。世界の工場のモデルとなる建物を、ここで実現したい。そう考え、設計に取り組みました。

全体は大きく柔らかな曲線で構成し、軒には「ルーバー」という細い線を重ねた手法を採用。広がりやパノラマ感を大切にしました。優しい表情の建物にするため、普段以上に細部に気を配りました。人間味と温かさを感じられるファサードになり、素敵な空間が生まれたと思います。自然と寄り添う新しい働き方が、ここから始まっていくことを願っています。

Profile

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授、日本芸術院会員。50を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

Top Message

日東工器の価値創造プロセス

価値創造の軌跡

創業以来続くイノベーション

ビジネスモデルの特徴

海外展開の歴史

Special Content

東北日東工器 おおぞら工場がスタート

3.日東工器のサステナビリティ経営

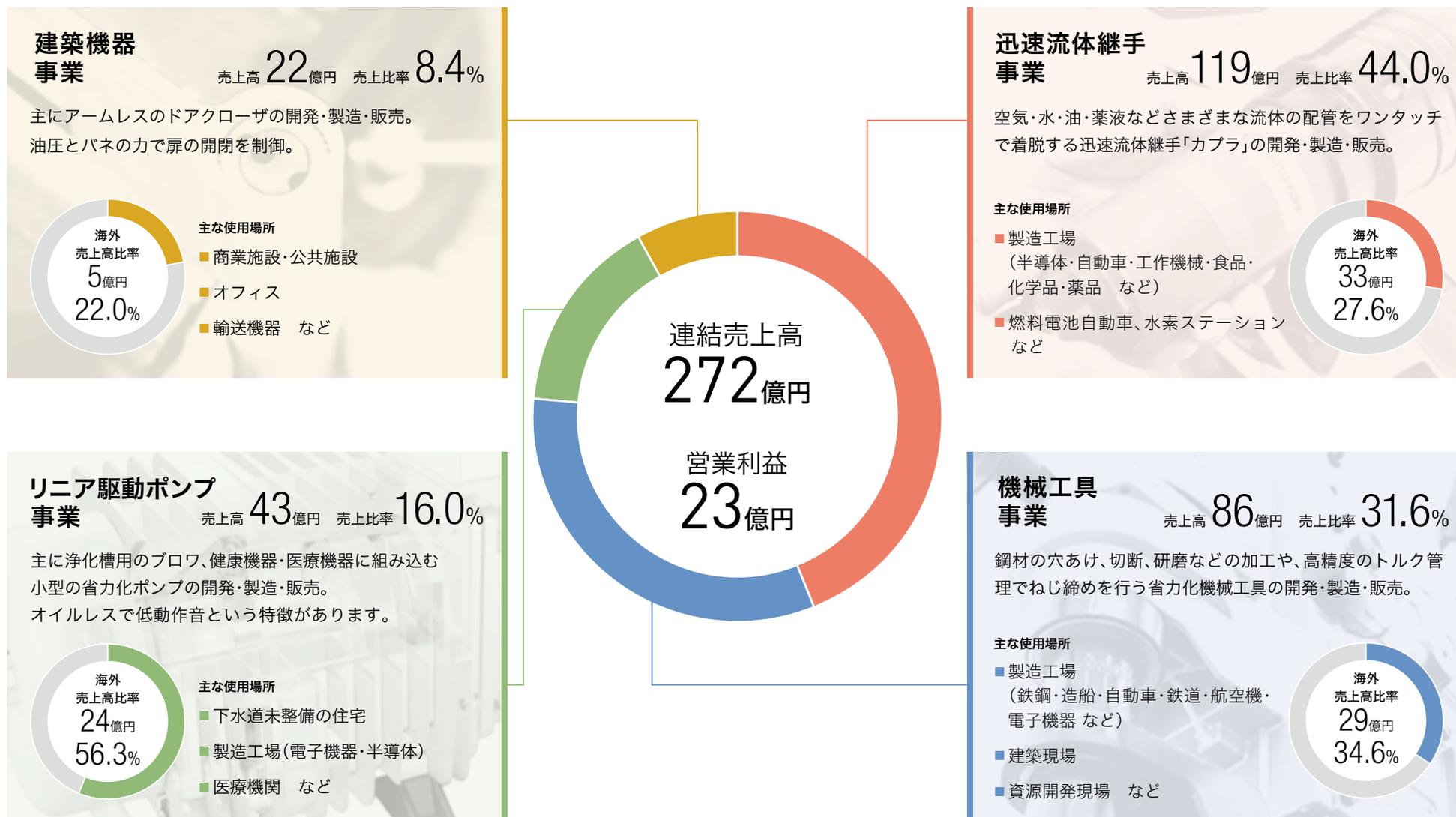
4.データセクション

Our Business

事業セグメント概要

製品種別ごとに4セグメントで構成

当社は創業時から生産を続けている「迅速流体継手」をはじめ、「アトラ」、「デルポ」などの製品を扱う「機械工具」、医療機器や住宅用浄化槽などに組み込まれる「リニア駆動ポンプ」、ドアクローザなどの「建築機器」の4つの事業セグメントで業績を管理しています。いずれも当社で企画、開発、生産、販売を行う一貫体制を備えています。



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧

4.データセクション

空気・水・油・薬液などさまざまな流体の配管をワンタッチで着脱する迅速流体継手「カブラ」の開発・製造・販売をしております。自動車、電気製品、半導体、食品などの製造工場をはじめ、資源開発の現場や、燃料電池車などの輸送機器やスーパーコンピューターなど、世界中で使用されています。



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション



主な製品

HHVカブラ® 高圧水素



日本初の燃料電池自動車用の継手。水素ステーションで高圧水素を供給・充てんする機器の接続部に使用されています。

セミコンカブラ® 半導体製造・化学



半導体製造設備をはじめとする、高純度な薬液用の継手です。

マルチカブラ® 自動金型交換システム配管



複数の流体の配管を一括して接続する複数配管型の継手。自動化・無人システムに適合可能です。

フラットフェイスカブラ F35型 建設機械など



独自のフラット接続面構造により、「カブラ」分離時の「液だれ」や接続時の空気混入量を最小限にする油圧配管用継手です。

サニタリーカブラ® 食品工場



分解・洗浄が容易で、衛生管理をサポートする継手。2016年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

コンパクトゼロスピルカブラ データセンター



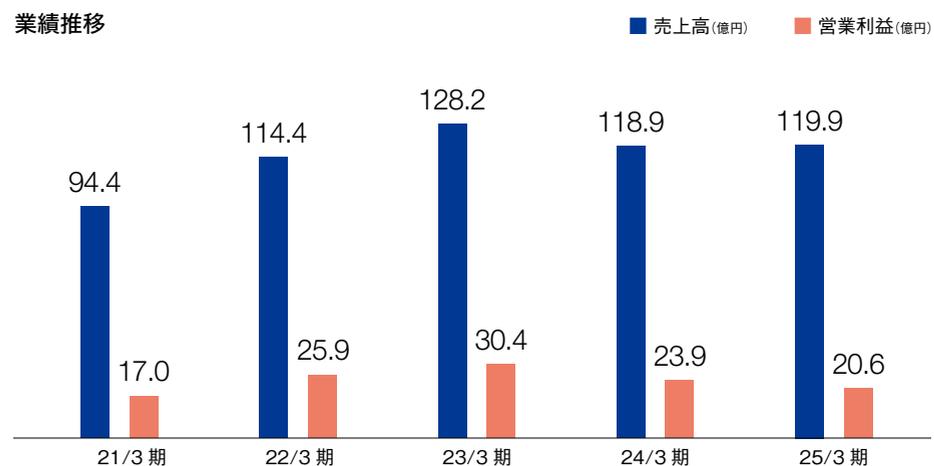
小型ながらも大流量、分離時の液だれを低減した継手。データセンター内での水冷式の配管に使用できます。

ハイカブラ® シリーズ 各種工場



各種工場で空気用の低圧の配管に使用する継手。ソケットにバルブを内蔵し、豊富なバリエーションを有しています。

業績推移



生産拠点

- 栃木 栃木日東工器
- 福島 東北日東工器
- タイ NKIT*

*NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.

Tools 機械工具

鋼材の穴あけ、切断、研磨などの加工や、高精度のトルク管理でねじ締めを行う省力化機械工具の開発・製造・販売をしております。
 建築現場、資源開発やインフラ整備現場、自動車、鉄道、航空機などの輸送機器の製造や修理などで使用され、短時間で高精度な加工や組み立ての要求に応えるため、油圧・電気・空気などの動力源をラインアップしています。

主な製品

アトラエース® 建設・建築・設備製造



ワンタッチで刃物交換の可能な携帯式磁気応用穴あけ機です。

ジェットタガネ® 鉄鋼・造船



複数のニードルで金属表面を加工する高速多針タガネです。

マルチワーカー® 各種工場



アングル材加工に必要な各種機能を複合化した油圧式の加工機で、全15種類のアングル材加工が1台で可能です。

自動化対応製品 電子機器



生産の自動化を実現するエンドエフェクタです。

ベルトン® 自動車・鉄道・航空



鋼材や鋳物のバリ取りや仕上げ研磨に使用するベルトサンダです。

ジェットブローチ® 建設・建築



ワンタッチで簡単に装着が可能なオリジナルの環状刃物です。

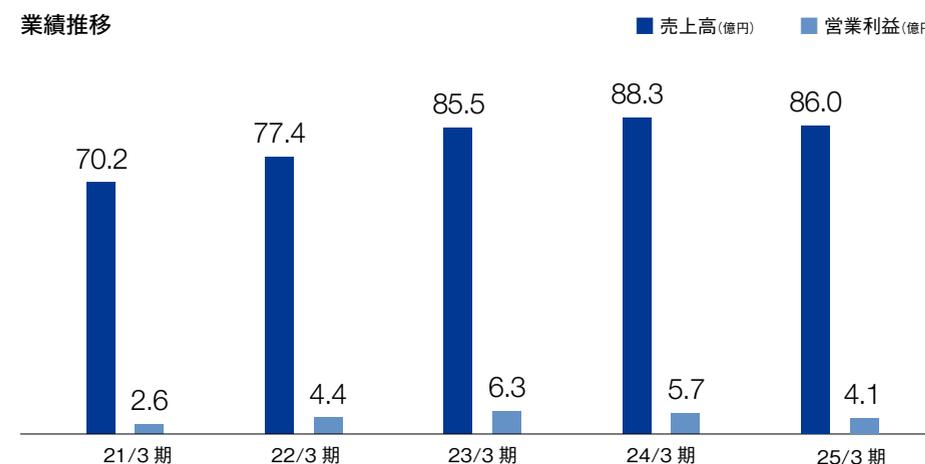
ブラシレスデルボ® シリーズ 電子機器



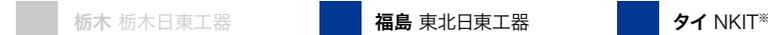
delvo®
 トルク設定機能・ねじ締め速度可変機能などによる高精度なねじ締めが可能な電動ドライバです。



業績推移



生産拠点



※NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション

LINEAR リニア駆動ポンプ

リニア駆動フリーピストン方式のポンプをはじめ、低消費電力でかつコンパクトな構造のポンプの開発・製造・販売をしております。オイルレスで低動作音という特長があり、医療、研究、食品、電子機器製造など、幅広い業種のお客さまへ、静かでクリーンなエアを供給するポンプをお届けしています。



主な製品

メドブロー® 住宅浄化槽・養魚・送風

低動作音、低振動が特長のリニア駆動のフリーピストン方式ポンプを内蔵した定置型のブローです。



AC/VPシリーズ 内視鏡・吸入器

クリーンな空気を供給するリニア駆動フリーピストン方式のコンプレッサ／真空ポンプです。



バイモルポンプ® インク・試薬供給

樹脂製の本体で、圧電素子で駆動する、小型・軽量の液体ポンプです。



DPシリーズ 吸着搬送

DC電源で駆動し、機器組み込み用の圧縮空気源・真空源として多様性を発揮するカップシール／ダイアフラム方式のポンプです。



MEDO® シリーズ 一般家庭・スポーツチーム



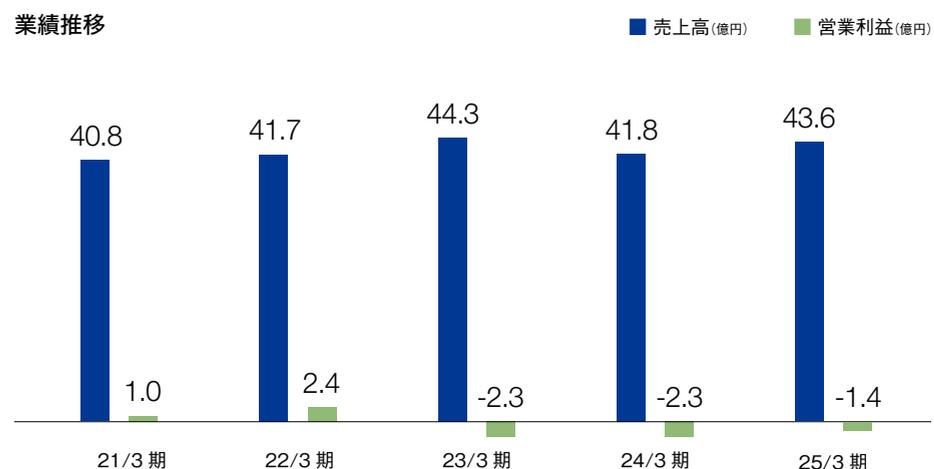
血行促進・疲労回復に効果を発揮する、空気の圧力を利用したマッサージ器です。

医療従事者向け製品 医療機関・福祉施設



ポンプで培った技術を基に設計された医療機器です。

業績推移



生産拠点

■ 栃木 栃木日東工器 ■ 福島 東北日東工器 ■ タイ NKIT*

*NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション

Door Closer 建築機器

主にアームレスのドアクローザの開発・製造・販売をしております。当社のドアクローザは、油圧とバネの力で扉の開閉を制御します。医療施設・オフィス・輸送機器など、世界中のさまざまなドアに使用されています。



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション



主な製品

AUTO-HINGE

オートヒンジ 中心吊型 防火扉・電話ボックスの扉



ドアに内蔵され、スッキリとした美観を実現。優れた性能と耐久性で、防火扉などに採用されています。

オートヒンジ 丁番型 公共施設、オフィス、玄関



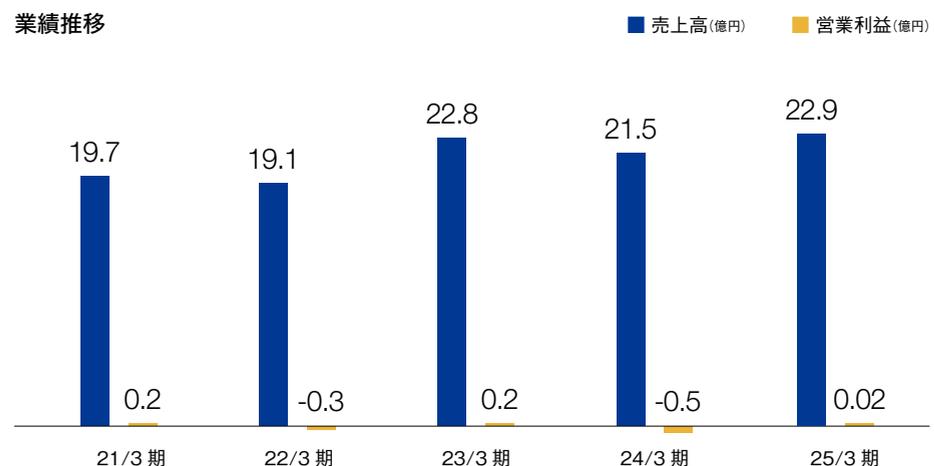
油圧とバネを利用した、静かにかつスムーズに開閉するドアクローザ。自閉機能を持つ丁番型のシンプルなデザインとなっています。

スライディングクローザ 医療施設・公共施設



小さな力でも軽く開き、好みのスピードで静かに確実に閉まる引き戸専用のクローザです。

業績推移



生産拠点

- 栃木 栃木日東工器
- 福島 東北日東工器
- タイ NKIT*



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

日東工器のマテリアリティ

経営方針に根ざしたサステナビリティ基本方針

サステナビリティ基本方針

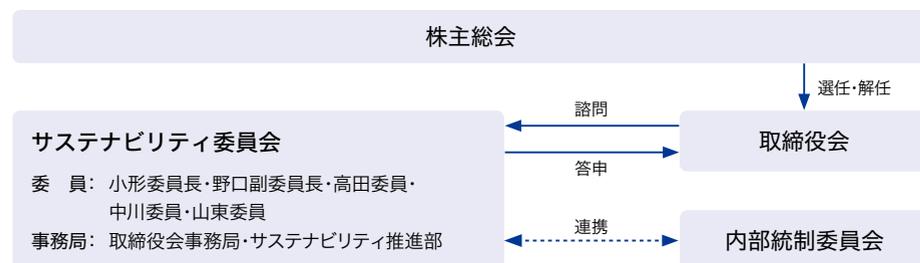
私たちは、社会への貢献、従業員の幸福、会社の発展という経営方針の実践を通じて、社会の、そして当社のサステナビリティの実現を目指します。

当社の経営方針は、「社会への貢献、従業員の幸福、会社の発展」です。これはまず、「省力・省人化」をテーマに時代のニーズに応える独創的な製品を開発、製造、販売し、広く社会に貢献することを目指します。次に、経営活動を通じて、従業員とその家族が幸福になることを目指します。そして最後に、社会への貢献と従業員の幸福を実現することで、企業の発展を目指します。この実践をすることは、すなわち社会のサステナビリティの実現と、当社の持続的な成長との両立を目指すことと同義であると考えています。

サステナビリティを推進するためのガバナンス体制

サステナビリティ推進体制

サステナビリティへの取り組みをより一層明確化・強化することを目的として、2023年5月10日付で、サステナビリティ委員会を設置しました。本委員会は取締役会の諮問機関と位置づけ、代表取締役社長を委員長とします。



サステナビリティ委員会の活動状況

回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
時期	2023年8月	2024年4月	2024年6月	2024年11月	2025年5月
主な審議内容	●基本方針の策定・マテリアリティの特定	●アクションプラン検討など	●開示方針審議など	●最新の基本方針・マテリアリティ審議など	●開示方針審議・体制構築の確認など

マテリアリティの特定プロセス

Step 1 価値創造情報の棚卸し
IIRCのフレームワークや価値協創ガイダンス2.0を参照し、第三者の視点を交えながら当社の価値創造に影響を与える要素(企業理念や歴史、沿革、ビジネスモデル、主たる経営資源、リスクと機会、経営戦略、ガバナンスなど)を棚卸ししました。

Step 2 サステナビリティ課題の抽出
事業環境におけるリスク・機会やGRI・SASBなどのガイドラインを踏まえ、当社がサステナブルに価値を創造し続けるための課題、および当社が貢献し得る、社会全体としてのサステナビリティ課題を抽出しました。

Step 3 重要性の評価
抽出したサステナビリティ課題に対して、「自社にとっての重要性」と「ステークホルダーにとっての重要性」の2軸に沿って重要度を評価しました。「自社にとっての重要性」は、市場の魅力度や競争優位性、当社の社是・社訓・経営方針との整合性といった戦略的重要度、および各課題に対応できなかった場合の負の影響度を考慮しました。「ステークホルダーにとっての重要性」は、GRIスタンダードやSDGsが示す基準、GPIF公表のメガトレンドおよび政策動向などの世間一般としての関心度合いと、各ステークホルダーに与える影響度を踏まえて評価しました。

Step 4 マテリアリティの特定
上記で評価した重要性に基づき、マテリアリティの事務局案を策定しました。サステナビリティ委員会にて審議・決定を行い、取締役会へ報告し、マテリアリティを特定しました。



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

日東工器のマテリアリティ

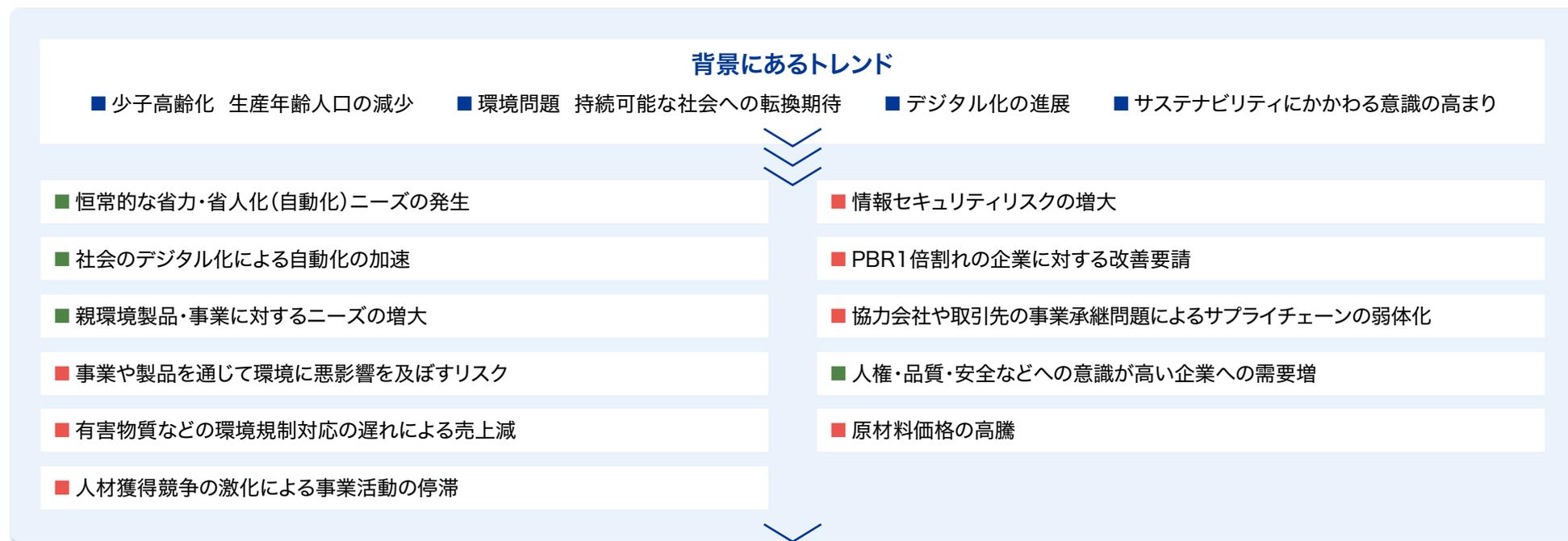
当社だからこそ貢献すべき領域と、永続的に発展するための重要事項を特定

多種多様な社会の課題の中で、当社は何に貢献していくべきか。創業時から想定していた「高賃金・人手不足時代」は、まさしく今、現実となりました。また、環境問題は今なお深刻化を続けています。

「省力・省人化」製品を作り続けている企業として、これらの問題解決への貢献に焦点を絞り、そして、その挑戦を続けるための体制づくりを一歩ずつ進めてまいります。

当社が重視したリスクと機会の要素

■ 機会 ■ リスク



上記リスクを回避し、機会を捉えるべく特定したマテリアリティ





日東工器のマテリアリティ

特定したマテリアリティごとに目標・指標、アクションプランを設定し、実行へ

特定したマテリアリティは、その解決に向け、グループ一丸となって取り組みを進めています。

目標や取り組み事項のうち、主な項目をご紹介します。

産業界の省力・省人化と自動化への貢献



長期的なありたい姿

あらゆる地域や業界に省力・省人化、自動化製品を供給することで、ユーザーの皆さまの人手不足問題の解消に貢献している状態。新しい技術で、これまでできなかった作業を可能にした状態。

目標指標例

- 自動化対応製品の全社売上高に対する比率向上

主な取り組み

- 自動化関連機器×デジタル技術に係る教育訓練や製品開発と強化

持続可能性を高めるガバナンスの構築



長期的なありたい姿

コンプライアンスが社内各階層において機能・維持され、それに従った判断がなされることで、事業全体としてコンプライアンスが高い水準で保たれている状態。質の高いリスク管理体制が確立され、リスクと機会の捕捉が適切になされている状態。

目標指標例

- 取締役会でリスクと機会を捕捉し、議論が活性化している状態

主な取り組み

- 取締役会実効性評価と改善活動
- 役員へのコンプライアンス情報の継続配信
- 内部統制システムの継続見直し

事業活動を通じた地球環境への貢献



長期的なありたい姿

脱炭素や省エネ領域に対して製品を供給し、設計・開発から廃棄に至るまで、事業活動全体で地球環境に貢献している状態。

目標指標例

- 温室効果ガス排出量(2050年カーボンニュートラルの実現)

主な取り組み

- Scope 1・2・3までの見える化・削減
- 環境製品の拡充・拡販強化

ステークホルダーとの相互理解の促進



長期的なありたい姿

各ステークホルダーとの信頼関係が構築され、省力・省人化機器メーカーとして幅広く認知されていて、適切な情報開示と、ステークホルダーの声を反映させた経営および事業活動がなされている状態

目標指標例

- 幅広いステークホルダーへの情報公開とアクセス数
- ユーザーニーズの収集機会・件数

主な取り組み

- 統合報告書の発行
- 投資家との対話機会の拡充
- 当社独自展示会の開催

「技術で、人を想う。」人材が集い、活躍する環境の実現



長期的なありたい姿

安全・安心で心身ともに健康的に働ける環境が整備されている状態。企業理念に共感しつつ、多様な考え方をを持った人が集まっている状態。挑戦する社内風土が浸透していることで、集まった人々がいきいきと働き、会社とともに成長している状態。

目標指標例

- 離職率
- 女性管理職比率
- 従業員エンゲージメント調査 など

主な取り組み

- エンゲージメントサーベイの導入と目標達成に向けた対策
- 上記も踏まえた継続的な労働環境改善

サステナブルなサプライチェーンの構築



長期的なありたい姿

取引先と持続的なコミュニケーションが保たれ、公正公平な取引が行われている状態。需要に見合った柔軟で安定的な生産・販売・物流体制が整備されている状態。

目標指標例

- サプライチェーン内の情報をより早く正確に把握・共有できる状態
- 非常時の安定供給体制が構築できている状態

主な取り組み

- 製販連携強化、サプライヤーとの意見交換の仕組み構築、重要補用部品の安定調達体制の構築

1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション



中期経営計画2026

メインテーマ: 10年後の飛躍に向けて稼ぐ力を再構築

2024年度から2026年度(2024年4月~2027年3月)の3年間を実行期間とする「中期経営計画2026」を策定しました。

※計画に関する情報は2024年5月時点のものです。



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

中期経営計画2026

中期経営計画2026の目標達成に向けて / 取り組みテーマの進捗

自動化分野・環境対応分野を拡充。そのために各機能の改善を継続。優位性の強化へ。

取り組みテーマ	2025年3月期進捗
1 水素用迅速流体継手を中心にエネルギー関連事業を強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 大流量水素用ノズルを開発 ● 市場動向をより深掘りした販売戦略の遂行
2 自動化・省力化、環境対応製品の積極展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動機用機械工具のラインアップ拡充 ● 環境対応製品の売上増
3 10年後を見据えた新規事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 協業、M&A情報を定期的に収集中
4 海外戦略の強化(地域特化戦略の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ● インド現地法人の設立 ● 中国において販売地域拡大
5 納期改善と原価低減による収益性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 新工場移管に向けた生産体制を構築中
6 人材とDX投資の融合による企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 選抜型のDX研修を実施 ● 人事管理システムを導入 ● 新基幹システム導入に向けて準備中
7 資本効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 12%の株式を消却(対2024年3月期)



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション



中期経営計画2026

取り組み
テーマ

1

水素用迅速流体継手を中心にエネルギー関連事業を強化

主力の水素用「カプラ」の成長に向けた取り組みを実施

製品開発

新製品の開発

トラックなどの大型車両への充電効率アップのため、70MPa大流量タイプを開発



70MPa大流量タイプ

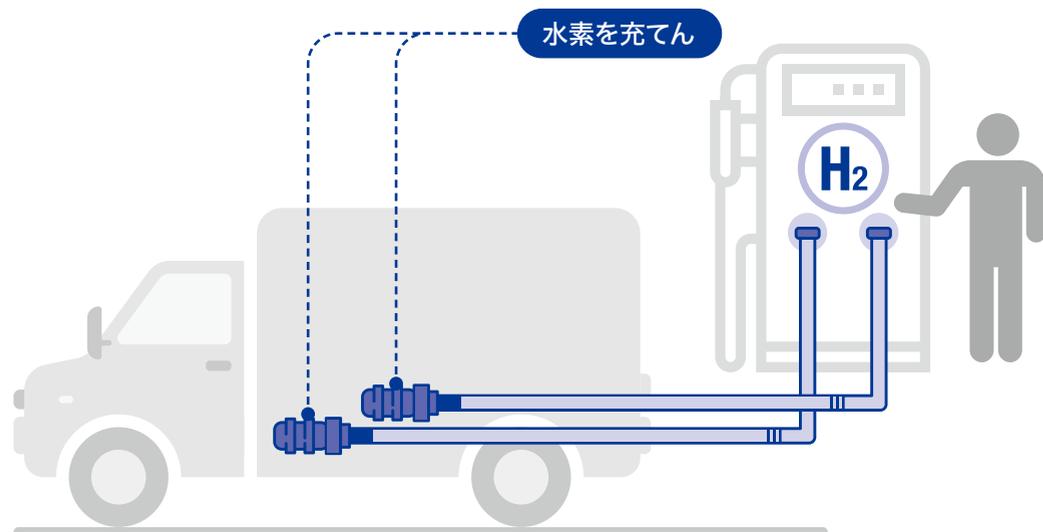
市場動向をより深掘りした販売戦略

部門をまたいだ水素ワーキンググループを始動

目的	将来の拡大期を見据え、生産体制や投資規模を検討する
メンバー	約30人
活動内容	生産、営業、開発など分野別に課題を抽出・検討

水素用「カプラ」採用実績

燃料電池車	<ul style="list-style-type: none"> ■ホンダ「CR-V e:FCEV」 ■トヨタ「新型クラウン」 ■トヨタ「新型MIRAI」
燃料電池バス	<ul style="list-style-type: none"> ■トヨタ「SORA」



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

中期経営計画2026

取り組み
テーマ

2 自動化・省力化・環境対応製品の積極展開

省人化・環境対応製品の展開が売上成長に貢献

自動化・省力化

産業界の省力・省人化、自動化への貢献を目指し、さまざまな製品を展開

- 自動機・ロボット対応製品の開発を強化
- Slerとの連携を増やす

製品例



環境対応製品

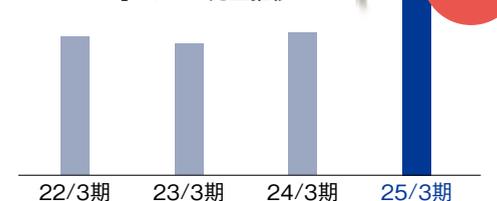
製品例 切削液回収ユニット「HK-400A」

低消費電力、小型・軽量、高い安全性をコンセプトに開発。従来の手作業やエア駆動式ポンプに比べて作業効率が大幅に向上し、電力使用量を削減。油性切削液にも対応

切削液のリサイクルを可能にし、作業環境の改善と省エネルギーに貢献



「HK-400」シリーズ売上推移



取り組み
テーマ

4 海外戦略の強化(地域特化戦略の推進)

重点市場への取り組み強化～インド現地法人の開設、欧米現地法人の組織力、エンジニア力強化

新興市場

2024年9月に設立したインド現地法人を軌道に乗せる

ターゲット市場 自動車、空調、医療機器

売上高 3億600万円(2024年度)

売上目標 約10億円(2030年度)

インド現地法人売上構成(2024年度)



既存市場

- 中国での販売チャネルを増やし、販売地域拡大
- 現地エンジニアリング力強化の上、ハイエンド需要取り込みの継続
- 既存販売チャネルの見直し、連携パートナーの発掘継続

成長戦略



販路拡大と代理店育成



ターゲットの明確化と市場に合った製品投入



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

中期経営計画2026

キャッシュアロケーション

手元資金と営業キャッシュフローを原資に、収益力の維持・拡大を目指した成長・設備投資を進め、同時に株主還元にも積極的に取り組みます。資本効率を十分意識

しながら目標ROE8%を可能な限り早期に達成し、PBR1倍割れを解消することを目指します。

基本方針

中計期間中(25/3期~27/3期)、営業キャッシュフローと手元資金の活用を組み合わせることで活動資金を十分に確保成長投資への資金配分を優先しつつ、安定的な株主還元を継続、企業価値向上を実現

中期経営計画 2026
 (25/3期~27/3期計画)





- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy** 営業戦略
 - Technology Strategy** 技術戦略
 - Management Strategy** 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧

4.データセクション

営業戦略

重点市場へのリソース集中でグローバル競争力を強化

当社では、国内外に広がる強固な販売ネットワークと高い製品品質を生かし、重点市場に戦略的にリソースを集中しています。

また、多様な市場環境や顧客ニーズの変化にも柔軟に対応し、持続的な成長を見据えた取り組みを進めています。

営業方針の背景と展望について、横田が語ります。

常務執行役員 営業統轄 **横田 圭右**



製品開発と販売網の両輪で業界トップシェアを実現

日東工器の中核製品である迅速流体継手「カブラ」は、自動車、半導体、工作機械など多様な分野で高いシェアを誇ります。加えて「機械工具製品」「リニア製品」「建築機器製品」においても、各々の分野のニッチトップ商品を保有しています。これらは、創業以来の技術開発への継続的投資と、堅牢かつ高品質な製品づくり、そして国内外に広がる強固な販売ネットワークに支えられています。創業時からの理念である「開発は企業の保険なり」という社是のもと、時代のニーズを的確に捉えた開発を

続けており、製品の品質や耐久性、堅牢性は実際の使用現場で高く評価されています。

販売ネットワークに関しては、日本全国6,000社以上の販売網と、海外に展開された流通網によって、優れた製品を迅速に顧客へお届けできる体制を整えています。この「製品力」と「販売力」が相乗効果を生み出し、長年にわたり業界内で優位性を維持している要因となっています。

また、現場の最前線にいる営業部門の知見を開発側と共有する取り組みも進んでおり、開発担当者が展示会や現場に足を運ぶことで市場をリアルに感じ取る機会を増やしています。

製品の良さと、製品を広めるための仕組みの両輪の強みを維持しつつ、販売パートナーとの連携を一層強化しながら、お客さまにご評価いただける日東工器の価値を追求してまいります。

地域特性に応じた戦略展開で海外市場を切り拓く

海外の市場展開においては中長期戦略「ロードマップ」を策定し、計画的に市場開拓を進めています。特に、先進国市場と新興国市場で異なるアプローチをとることが重要であり、それぞれのニーズに合わせた戦略を展開しています。



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション

先進国においては、製品品質と付加価値の提供が差別化の鍵となっており、価格競争だけでなく、省人化や環境対応といった社会課題に対応するソリューションの提案が求められています。一方、新興国では、販売チャネルの整備と拡充を優先する必要があります。例えば、インドでは2015年に駐在事務所を設立し、2024年には現地法人を設けることで、自社で受注・在庫管理を行い、現地市場への主体的な関与を強化しました。これにより、これまで直接輸入・在庫を行っていた現地の販売店の負担を軽減しつつ、より迅速かつ柔軟な対応が可能となりました。

現場の知見を開発へ伝え 変化を先取りする提案型営業へ

営業の最前線に立つ中で、当社製品の適用範囲の広さと、将来的な可能性の大きさを強く感じています。特に、省人化・自動化・脱炭素といった社会的課題や新たな産業分野に対応できる製品群をすでに有しており、今後の技術革新や市場変化にも柔軟に対応できる体制を整えています。

現在、海外売上は全体の約3分の1にとどまっていますが、当社の技術力と製品の汎用性を考慮すれば、さらなる拡大が可能と確信しています。中でも自動化・省人化ニーズに応える協働ロボット対応型商品への需要は各市場共通で高まっており、「カブラ」や機械工具製品が活用できる分野です。また、リニア駆動ポンプを活用し、生産ライン設備の近くで必要な量

のエアを供給する製品は、省エネルギーや工場内の効率化を支援しています。こうした現場の声に基づいた製品開発と提案活動が、当社ならではの営業の強みといえます。営業部門では市場の変化や兆しをいち早く捉え、それを開発・生産部門と共有する体制を整えています。この社内連携によって、変化するニーズへのスピーディーな対応が可能となり、製品の市場適応性が向上します。今後も営業現場から得られる潜在的なニーズを起点に、新たな製品群とソリューションを展開し、顧客満足度の最大化に取り組んでまいります。

成長分野を見据えた展開で AI・半導体・水素の可能性を拡張

当社では、時間軸を意識しつつ経営資源を最大限に生かすことを目的に、セグメント・エリアごとの中長期ロードマップを策定し、市場特性と成長予測に応じたリソース投入を進めています。これにより総花的に全方位展開するのではなく、優先順位を明確にしながらPDCA手法を通じたエリア戦略を実施しています。現在はインド市場を重点強化地域と定め、現地法人設立を含む販売体制の整備を推進しています。

国内市場においては、半導体、AI、データセンターといった成長分野への対応が進行中です。データセンターは日本でも今後拡大していきます。データセンターにおける水冷式の配管では、当社製品である「カブラ」が大量に使用されますし、空冷式ユニットにおいては当社の引



き戸式ドアクローザが使用されていて、今後さらなる需要拡大が期待されています。水素用の迅速流体継手「HHVカブラ」は、20年以上にわたるパートナーとの共同研究の基盤と、国内で唯一の燃料電池車両向け量産迅速流体継手供給メーカーである強みを生かし、今後の世界需要の拡大に向けた取り組みを進めています。

パートナーと協力しながら、 持続可能な成長に向けて

世界の社会情勢が大きく変化する中で、各国での競争が激しさを増しています。当社は単なる価格競争に陥らず、差別化された製品力・提案力・販売チャネル力を武器に市場を開拓していきます。代理店や販売店の皆さまの信頼関係は、競合との差別化を図るうえで欠かせない強みの一つです。今後もパートナーの皆さまと協力しながら、共に価値を創出し、持続可能な成長を目指してまいります。

技術戦略

環境と社会に寄り添う独自の技術が サステナブルな成長を支える

当社の柱となる製品群は、それぞれのコア技術の進化によって支えられています。
環境や省エネルギー、安全性などに配慮しながら、
持続可能な社会へ貢献する製品開発に挑み続けています。
こうした日東工器の取り組みを、千葉が語ります。

専務執行役員 技術統轄 **千葉 隆志**



日東工器の事業を支える“4つの柱” そのコア技術の進化が、製品を革新する

当社には、事業を支える柱となっている4つの大きな製品群があり、それぞれが複数のコア技術を内包しています。例えば、主力製品である迅速流体継手「カブラ」は、高い気密性が求められる製品であるため、“漏れない”という特性を確保するシール技術が中核を成しています。

加えて、空気などの流体の圧力をいかに損失することなく通すかという点も、長年にわたるノウハウが集約された重要な技術領域です。バルブを内蔵す

る構造の場合、流体の流れを妨げない設計を実現するには、精緻な構造設計技術と知見が必要不可欠です。こうした課題を一つひとつ乗り越えてきた技術の積み重ねが、現在の強みへとつながっています。

一方、機械工具の分野においては、近年の脱炭素化の流れを受け、従来主力だったエア工具は電動化への移行を一層加速させています。特にブラシレスモータは、これまで外部調達に依存していたものを、自社で設計・製造する体制へとシフトしています。これにより環境性能と高効率を両立させる製品開発を推進しています。

“環境への配慮は当たり前” 企業姿勢を全製品・全工程で貫く

当社では、製品の企画段階から材料調達、お客さまに廃棄されるまでの全ライフサイクルで、環境負荷を評価する「DfE (Design for Environment) シート」による運用を約20年前から導入しております。また、グリーン調達基準を適用し、サプライチェーン全体で環境負荷の軽減に取り組んでいます。有害物質の排除、エネルギー使用の抑制、廃棄物の再資源化などを通じて、持続可能なモノづくりを実践しています。例えば、オイルを使用しないで駆動する構造の「メドープロ



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧

4.データセクション



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション

ワ」は、クリーンなエアを提供する製品として高く評価されています。また、「カブラ」の内部で流体をスムーズに流す設計や、前述の電動ドライバ「デルボ」のブラシレスモータ化なども、エネルギー効率の向上と環境負荷の軽減を両立させる技術です。こうした取り組みは一部の製品に限ったものではなく、当社の設計・製造における標準的な考え方として定着しています。

環境への取り組みは一朝一夕のものではなく、長年にわたって積み上げてきたものです。当社は2004年から国際環境マネジメント規格「ISO14001」に基づく体制を構築・運用しているため、それにより気候変動や温室効果ガスといったサステナビリティに対する課題にも、自然と対応できる企業体質が形成されています。省力・省人化については、創業当初からの一貫して実践してきたテーマであります。少子高齢化で労働人口が減っているなかで、その重要性はますます高まっていると考えています。

安全性に関しては、品質保証部門による厳格な評価を実施しており、いわゆる「いじわるテスト」とも呼ばれるような過酷な耐久性・信頼性試験を通じて、製品の信頼性を徹底的に検証しています。これは創業以来の品質へのこだわりを体現するものであり、今なお継承され続けています。

培ってきた熟練技術を若い世代へ 現場体験やDX研修で計画的に育成

製品開発における技術の伝承や人材の育成にも力

を入れています。熟練技術者の背中を見て学ぶ世界ではなく、計画的なOJTや現場見学、外部研修を積極的に実施しています。例えば、迅速流体継手「カブラ」や電動ドライバ「デルボ」は顧客の生産ラインで使用されており、普段は入りにくい場所です。そうした現場を見る機会があれば、若い人材を積極的に参加させています。

現場での経験に加えて、デジタルスキルの育成も進めています。近年ではデジタル化が必須であるため、外部研修会や、社内のDX講座など定期的な研修や成果発表会を開催し、技術者だけでなく営業や企画部門を含む全従業員がデジタル化のノウハウに親しむ環境を整備しています。さらに、日東工器グループ全体での人材の定期的なローテーションを実施しており、技術と知見の水平展開にも注力しています。

お客様のニーズを起点に サステナブルな製品づくりに挑み続ける

私たちは、持続可能な社会の実現に貢献する製品・技術の開発にも注力しています。主力製品である「カブラ」では、25年以上前から水素関連の技術に取り組んでおり、液体水素をはじめさまざまな次世代エネルギー分野にも対応を広げています。機械工具においても、自動化ニーズに対応した製品を多数開発しています。新たなニーズや変化の兆しをいち早くつかみ、技術として具体化し、製品に反映していく。これが、当社の持続可能な製品開発における

重要な方針と言えます。こうした取り組みを支えるのが、お客さまとの対話や営業部門との連携であり、現場の声をより深く理解する体制を強化しています。

自動化技術においては、実は、日東工器グループの工場が実用化の先端を担っています。例えば、「バリ取り自動化システム」は、当社製の工具をロボットに搭載し、ダイカスト部品のバリ取りを自動化したもので、工場での実運用を通じて評価のフィードバックを受け、改良を重ねています。自社工場が“お客さま”として機能することで、実用性の高い製品開発が可能となっています。

そのほか、当社のポンプ技術を応用した電動吸着ハンド「e-VEE」は、圧力が一定の真空圧に達するとエアの供給を停止することで、大幅な省エネルギーを実現しています。さらに、電動ドライバ「デルボ」はトルク制御や速度制御を備え、ねじ締め作業の品質向上と自動化に寄与しています。

今後も産業や社会の変化を敏感に捉え、お客さまのニーズと現場の知見を製品に反映させながら、持続可能な製品づくりを推進してまいります。





- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧

4.データセクション



管理戦略

組織のしなやかさが 企業の持続的成長を支えていく

企業の持続的成長には、変化をしなやかに受け止める力が不可欠です。そこで当社は人材育成やDX推進、リスク管理といった各領域で体制を強化し、実効性ある組織づくりと運営に取り組んでいます。これからの方針について、野口が語ります。

取締役 常務執行役員 管理統轄 IR担当 野口 浩臣

経営理念を軸に 変化に柔軟に対応できる組織へ

現在、社会や経済の変化は非常に速く大きなものとなっており、こうした環境下で経営基盤を強化するには、企業理念に基づいた戦略の策定と実行が重要です。当社では創業時から明確な経営理念を掲げ、常に理念との整合性を意識しながら、柔軟かつ実効性のある組織運営を行っています。

まず「①人材の確保と育成」が重要課題です。優秀な人材の採用と定着、さらに成長できる環境の整備は、企業成長の基盤となります。従業員がやりがいを

持って働ける職場づくりを進めています。

次に「②組織の柔軟性と適応力の向上」も不可欠です。部門間の円滑な意思疎通を可能にするためにも、デジタル技術の活用を強化し、社内システムの刷新にも積極的に取り組んでいます。

「③DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進」では、単なる効率化にとどまらず、新たなビジネスモデルや競争優位の創出を目指しています。2025年4月にはIT統括部を新設し、DX推進体制を強化。工場の見える化や教育・人材育成にも注力し、社内全体の意識とスキルを底上げしています。

「④企業文化の醸成と価値観の共有」も重視して

います。社是・社訓・経営方針などの企業理念や行動指針を日東工器グループの全従業員が共有することで組織の一体感を高める取り組みを行っています。

「⑤サステナビリティと社会的責任」も当社の重要な価値観です。経営方針に「社会への貢献」を掲げており、環境や社会課題への対応は、企業の信頼性とブランド価値向上に直結すると考えています。

最後に「⑥リスク管理とコンプライアンスの徹底」も欠かせません。法令順守を基本としつつ、仕組みによるリスク管理を徹底。危機への備えを強化することで、安定した長期的な企業運営を目指しています。

多様な人材の力を引き出し 一人一人が輝く職場づくりを

当社では「技術で、人を想う。」というスローガンを掲げ、多様な人材が活躍できる環境づくりを推進しています。2024年度からは人的資本に関する社内データの収集と分析を行い、現状把握と施策立案に生かしてきました。2025年度からは、これらのデータをもとに実効性ある取り組みを本格的に開始しています。

教育は、社是「開発は企業の保険なり」に基づき、自律的に挑戦する人材を育て、併せて全従業員が力を発揮できる職場づくりを目指しています。主な例としては、

- 通信教育やeラーニングの導入
- 目標管理制度での自己啓発と他者教育の促進
- 指導員制度およびメンター制度を導入し、部門を越えた支援体制を整備
- 異動や転勤、自己申告制度を通じて、国内外問わず挑戦の機会を提供
- ロボット安全教育やDX分野での教育を強化
- 若手選抜や階層別研修など自律性を育む教育内容の充実

ダイバーシティでは、性別を問わず実力を重視した多様な人材の活躍に向けて取り組んでいます。2027年3月までに女性管理職比率8%を目指しています。管理部門ではすでに複数の女性が部長職に就

任し役員にも登用されています。また、男性も積極的に育児に参加できるよう子育て支援の拡充や、離職後も復職可能な「カムバック制度」も整備してきました。外国人従業員の採用は海外拠点を中心に展開し、育成にも力を入れています。昨年は各拠点の代表者を対象に、「この3年間で開発すべきものは何か？」をテーマに日東工器本社で研修を実施し、日東工器グループの未来について討議しました。

障がい者雇用にも積極的に取り組み、2025年4月時点で9.5名相当を雇用できました。今後も継続的な採用を予定しています。シニア人材には再雇用制度を用意し、キャリアや報酬制度の見直しにも取り組みます。

人材登用や職場環境については、多様な価値観を



受け入れる土壌があると考えています。今後はエンゲージメント調査を通じて意識や満足度を可視化し、施策へ反映していく予定です。

柔軟な働き方では、テレワークを一部の職種へ導入し活用しています。副業も可能で、ライフスタイルやキャリアプランに応じた多様な働き方を支援しています。

リスクマネジメントとガバナンスを強化 健全で持続可能な企業文化を育む

当社のグループ会社である栃木日東工器株式会社において、不適切な会計処理が行われていた事実が判明し、2024年9月12日に公表しました。これを重く受け止め、社外の専門家を含む特別調査委員会を設置し、調査結果および提言を踏まえた再発防止策を策定しました。

現在、その徹底とともに、内部統制システムの実効性向上に取り組んでおります。具体的には、問題が発生した部門の組織体制および業務プロセスを見直し、不適切な処理が行われた会計データのモニタリング体制の改善をすでに実施済みです。また、財務報告に関する内部統制の評価を担う財務報告委員会の体制を再構築し、実効性の高い運用が可能となるよう強化を図りました。加えて、本社の監査機能の強化を含むリスクマネジメント体制全般の見直しについても、2025年度中の実施を目標に鋭意取り組んでいます。これらの一連の対応を通じて、経営上のリスクを未然に防ぎ、信頼性の高いガバナンス体制の構築を進めてまいります。



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション

人的資本

社会・地域とともに

日東工器グループの経営方針は、「社会への貢献、従業員の幸福、会社の発展」です。

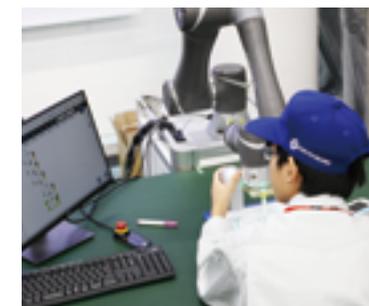
「省力・省人化」をテーマに時代のニーズに応える独創的な製品を開発、製造、販売し、広く社会に貢献することを目指します。次に、経営活動を通じて、従業員とその家族が幸福になることを目指します。そして最後に、社会への貢献と従業員の幸福を実現することで、企業の発展を目指します。この実践をすることは、すなわち社会のサステナビリティの実現と、当社の持続的な成長との両立を目指すことと同義であると考えています。



社会科見学



植林活動



職場体験



技術系の学生向けの工場見学



障がい者を美術館にご招待

1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

人的資本

「技術で、人を想う。」人材が集い、活躍する環境の実現

経営方針である「従業員の幸福」の実現に向けて、安心して働ける環境づくりに力を入れております。人的資本に係るリスクと機会を検討し、『技術で、人を想う。』人材が集い、活躍する環境の実現」をマテリアリティとして掲げ、各種施策に取り組んでいます。



Global Leadership Training Program



新人教育



子育て支援制度を利用した社員



部活動

人的資本項目(連結)	単位	目標	2023/3期	2024/3期	2025/3期
従業員数	人	-	1,021	1,014	1,052
キャリア採用比率	%	-	45.2	73.8	33.9
離職率	%	2027年3月までに5%	5.3	8.1	6.7
女性管理職比率	%	2027年3月までに8%	6.9	6.2	6.2
男性育児休業取得率	%	2027年3月までに50%	27.3	33.3	71.4
男女間賃金格差	%	2027年3月までに65%	61.8	63.8	66.1

1 働きやすい職場

- 育児や介護などの事情に応じて、在宅勤務、短時間勤務、慣らし勤務を実施
- 育児と仕事の両立を支援するため、保育園の延長保育費用を補助
- 指導員制度とメンター制度を併用し、自部門および他部門からの育成・支援の機会を整備
- 健康サポート環境の構築のため、メンタル不調者への対応方法や相談窓口を案内

2 エンゲージメント

- 自己申告制度や上司との面談を活用し、希望者には国内外への転勤を通じた育成機会を積極的に提供
- エンゲージメントサーベイを導入し、調査結果を経営層と共有しながら、会社の課題解決に向けた具体的な施策を検討

3 学び

- 階層別研修、全社研修、新人教育の見直しを進め、研修内容や受講時期を選択制にすることで、受講者の自律性を向上させる取り組みを開始
- 自律的な学びを支援するため、全社的なeラーニングメニューを導入し、全社研修や階層別研修を柔軟に受講できる体制を整備
- 事業環境の変化に対応するため、DX専門人材の育成を目的に、新入社員および中堅社員を対象とした選抜型DX研修を実施し、受講者が自部門でDXを活用した業務効率化を推進
- KPI(重要業績評価指標)として通信教育の受講率を設定し、従業員の積極的かつ自律的な自己啓発・能力開発を促すために、通信教育の人気講座を毎月イントラネットで従業員へ配信。2024年度の通信教育受講率は32.8%

4 多様性

- 海外関係会社の現地従業員がリーダーシップをもって貢献できるようGLTP(Global Leadership Training Program)研修を実施し、多様な人材の登用促進を目指す

5 福利厚生

- 福利厚生サービス
- 各種保養施設
- 従業員持株会制度
- 財形貯蓄制度
- 貸付金制度
- 懇親会補助金制度
- 退職金制度
- 予防接種補助
- 慶弔見舞金
- 団体定期保険
- 部活動
- 独身寮
- 転職時の対応
- 永年勤続
- 創立記念日
- ノー残業デー
- ライフプランセミナー

環境戦略

日東工器グループが目指す環境経営

日東工器グループは、「事業活動を通じた地球環境への貢献」を、経営の重要課題と位置づけています。

本ページでは、環境戦略とその具体的な取り組みについてご紹介します。

日東工器グループは環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を基本として、環境と人に配慮した持続可能な経営を推進してまいります。事業活動の中で環境に影響を与える主要な環境課題となるものは、以下のとおりです。

- ① 事業活動や開発製品の環境負荷の軽減
- ② 製品含有化学物質の管理と体制の構築
- ③ 効率的な生産体制の構築
- ④ 二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガス排出量の見える化と削減

環境に配慮した省力化・省エネルギー製品の開発、さらに生産効率化と省エネルギー生産、廃棄物の削減、営業活動、製品輸送など全ての業務活動において、環境と人に配慮した持続可能な経営を推進します。

気候変動・カーボンニュートラルへの取り組み

マテリアリティ(重要課題)として「事業活動を通じた地球環境への貢献」を掲げており、国の環境方針である2050年のカーボンニュートラルの目標を念頭に、GHGプロトコル(Greenhouse Gas Protocol)に基づいた温室効果ガス排出量の算定と開示を行っています。Scope 1(自社の直接排出)およびScope 2(購入した電力などによる間接排出)に加え、2023年度からはScope 3(その他の間接排出)の算定を開始しました。

スコープ3全体の見える化に向けた取り組み(アスエネ株式会社WEBサイト)



日東工器グループ サプライチェーン排出量

(単位:tCO₂)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope 1	852	905	846	792	840
Scope 2	5,222	5,546	4,944	4,143	3,693
Scope 3	-	-	-	77,321	87,245

再生可能エネルギー活用への取り組み

2021年より、太陽光発電システムの導入(タイ工場)や、水力発電が由来の電力を使用し(山形・旧メドテック工場)、温室効果ガスの削減に努めています。今後も環境保全と事業活動の両立を目指し再生可能エネルギーの活用に取り組んでまいります。2025年度より新たに、東北日東工器および栃木日東工器でも、水力発電由来の電力の使用を開始しました。



再生可能エネルギー導入の例
(タイ工場 太陽光発電システム)

日東工器グループ 再生可能エネルギー由来の電力使用率推移(日本・タイ)



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

事業セグメント概要

日東工器のマテリアリティ

中期経営計画 2026

Sales Strategy 営業戦略

Technology Strategy 技術戦略

Management Strategy 管理戦略

人的資本

環境戦略

ガバナンス

役員一覧

4.データセクション

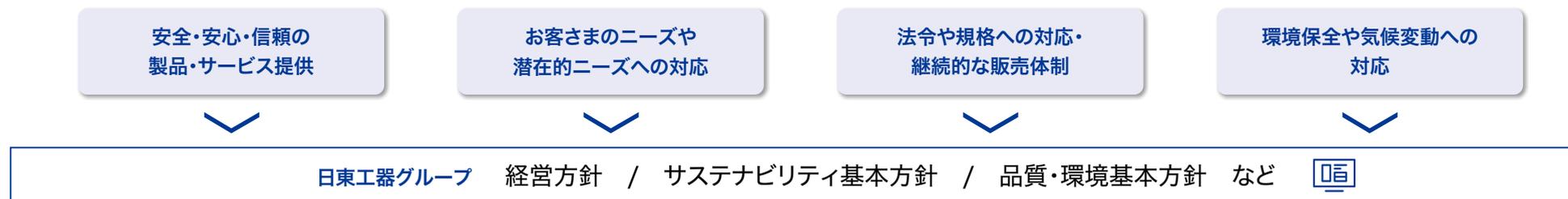


環境戦略

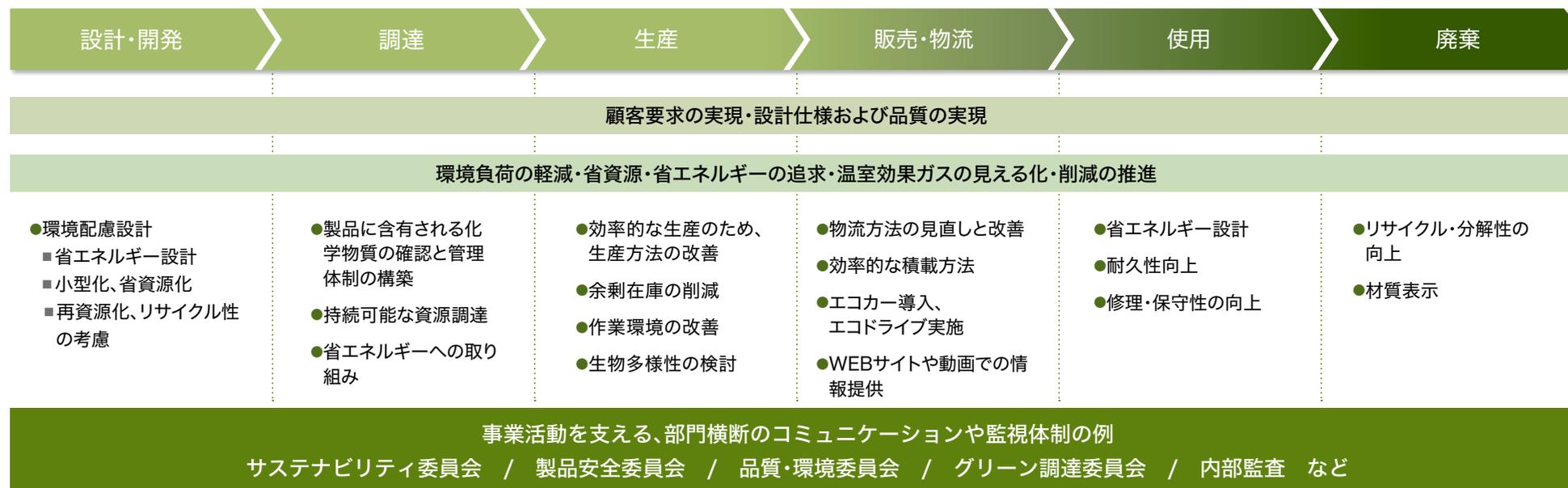
顧客満足と環境保全「品質・環境マネジメントシステム」

日東工器グループは、製品やサービスの提供において、品質・環境マネジメントシステムを構築しています。製品品質を含む顧客満足の向上と環境保全に向けた取り組みを、以下ご紹介いたします。

顧客や社会に対する課題の例



国際規格「ISO9001」「ISO14001」をベースに、独自の「品質・環境マネジメントシステム」で、顧客満足の向上と環境保全を推進



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧

4.データセクション



ガバナンス

強化に向けた取り組み

すべてのステークホルダーから信頼を獲得していくために、経営の健全性・透明性を高めるといった観点から最適なコーポレート・ガバナンスの構築に取り組んでまいりました。

コーポレート・ガバナンスに対する基本的な考え方

当社において、コーポレート・ガバナンスの目的は、継続的に企業価値を高めるためのものとの認識に立ち、適時適切な情報開示によって透明性を確保できるよう、経営の監視が適切に機能するよう努めていきます。

また、ステークホルダーとの約束を守り信頼されることによって企業価値を高めることができると考えております。

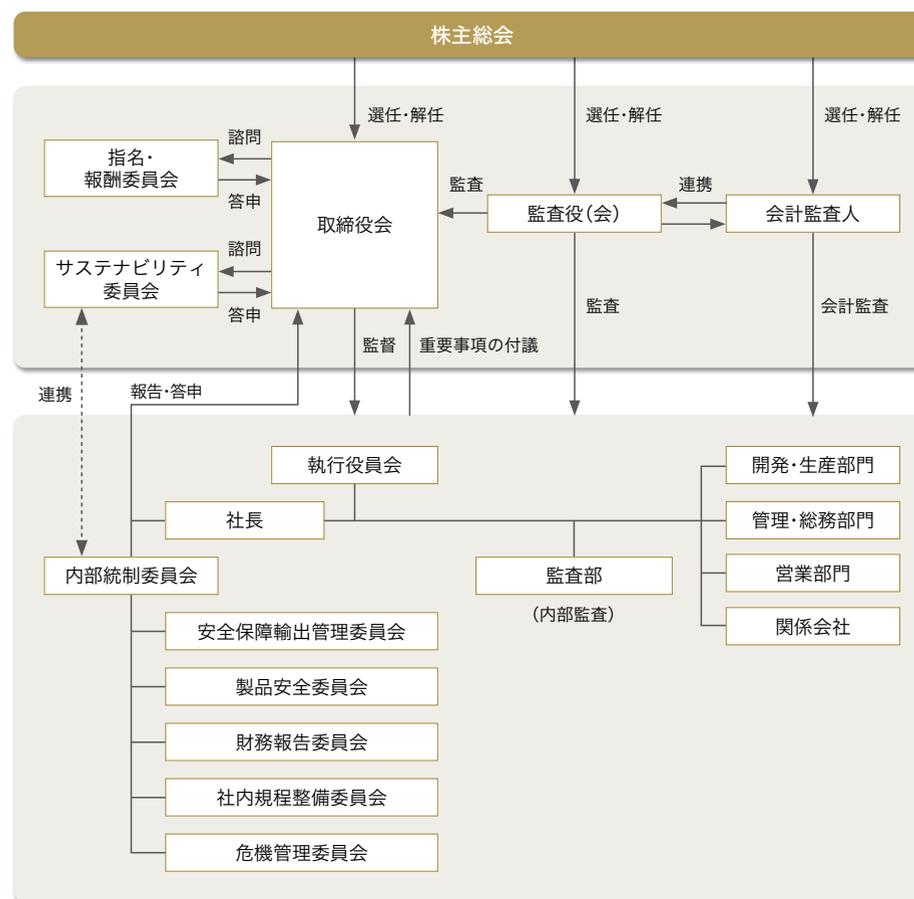
基本方針

- 株主の権利・平等性の確保** 株主の権利が実質的に確保されるよう環境整備を行います。また、少数株主や外国人株主の権利行使についても平等性の確保に配慮いたします。
- 株主以外のステークホルダーとの適切な協働** さまざまなステークホルダーとの適切な協働を図り、これらステークホルダーの立場を尊重し、社会・環境問題などに取り組んでまいります。
- 適切な情報開示と透明性の確保** 会社の財政状態・経営成績などの財務情報を適時開示することはもちろんのこと、非財務情報についてもニュースリリースやホームページなどで情報開示いたします。
- 取締役会などの責務** 取締役会は、事前にと取締役会資料を配付し、必要に応じて補足説明などを加え、独立社外取締役3人が独立した客観的な立場から、経営陣・取締役に対する監督をしております。また、社外監査役2人を含む監査役会は、独立社外取締役3人も定期的に会合を持ち、取締役会において経営陣に対して意見を述べております。このように株主に対する受託者責任を果たせる体制になっております。
- 株主との対話** 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するため、株主総会での対話だけでなく、株主との個別の対話にも対応しています。

ガバナンス強化の変遷



コーポレート・ガバナンスの体制



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

ガバナンス

リスクマネジメント・事業継続マネジメント

持続可能な成長と安定的な事業運営を実現するため、サステナビリティと内部統制のリスク管理体制を整備し、統合的に運用しています。

サステナビリティに関するリスクマネジメント

2023年11月に発表したマテリアリティ(重要課題)は、その背景となるリスクと機会を踏まえて特定を行いました。今後はそのリスクと機会を定期的に見直し、必要に応じて戦略に反映します。また、内部統制委員会およびその傘下である危機管理委員会や製品安全委員会でもリスクについて検討しており、必要に応じてサステナビリティ委員会と連携します。

気候変動に関するリスクと機会の管理について、当社グループはTCFDの提言への賛同を表明はしておりませんが、主旨には賛同しております。まず外部専門家を交えてシナリオ分析(2°C以下と4°C)を実施し、リスク(移行リスク・物理リスク)と機会の評価を行いました。現時点において重要度の高いリスクは「カーボンライジング導入によるコスト増加」のみと判断され、リスクは限定的であると判断しています。

内部統制に関するリスクマネジメント

社長を委員長とする内部統制に関する最高意思決定機関として内部統制委員会を設置しています。その内部統制委員会傘下に分野別の各委員会を設置し、内部統制規程、コンプライアンス規程、安全保障輸出管理規程、危機管理規程、および各委員会細則にのっとり、リスク管理体制を有効に機能させております。

なお、有事の際には社長を本部長とする緊急対策本部を設置し、損害の拡大を防止し損失を最小限にとどめるよう、迅速な対応を行う体制をとっております。さらに、関係会社管理規程に基づき、経営企画部が国内・海外の製造グループ会社、海外営業推進部が海外販売グループ会社を統轄して、企業集団のコンプライアンスおよびリスクの管理を推進する体制を取っております。

事業継続マネジメントの基本方針

当社は緊急事態で優先すべき事項を、次のとおり明確化しています。

従業員・家族の
命を守る

製品の
供給継続

社会的な責任を
果たす

事業継続のための取り組み

- 1 **購買ルートの確保**
非常時に備え、代替のルート(協力工場)を常に考慮した体制づくりを進めています。
- 2 **生産のバックアップ体制**
迅速流体継手事業・機械工具事業・リニア駆動ポンプ事業は国内およびタイ国の2工場体制となっています。工場間では、代替生産が可能な体制づくりを進めています。
- 3 **製品提供の維持**
万一、生産が中断した場合は、西日本物流センターの在庫および栃木日東工器と、全国に所在する代理店さまの保有する在庫により、欠品リスクを最小限にとどめる体制にしています。
- 4 **販売のバックアップ体制**
営業拠点が被災した場合は本社で、本社が被災した場合は西日本支社で、それぞれ受注・発注手配ができるシステムの開発およびテスト運用が完了しています。
- 5 **営業拠点のバックアップ体制**
緊急時に「通常の連絡先」が対応できない場合は、「災害緊急時の連絡先」で対応が可能です。
- 6 **施設の防災対策**
地震への備えの一つとして、建物の被害を最小限にとどめる対策を進めています。建物自体の耐震化に加え、什器の耐震補強や事務機器の固定などを行っています。そのほか、本社および営業拠点では、ヘルメット、食料、毛布などの防災備品を適正数保有しています。
- 7 **情報データのバックアップ体制**
お客さまへ製品を供給するために不可欠な情報データのバックアップ体制を既に確立しています。停電時、サーバールームは非常用発電で稼働しますが、万が一困難な事態になった場合は、直ちに他拠点の運用に切り替え、速やかに復旧することができます。





- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy** 営業戦略
 - Technology Strategy** 技術戦略
 - Management Strategy** 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

ガバナンス

取締役会

取締役会では、経営上の重要事項を審議し、中期経営計画の主要項目や各部門の基本戦略などの報告を通じた業務執行の監督を行っています。また、法令および定款に基づく決議事項に加え、当社が定めた事項についてサステナビリティの観点も重視し審議・決定しています。

取締役・監査役の構成とスキルマトリクス

当社の取締役会は、技術開発、生産、販売、管理、企画などそれぞれの分野を統轄するにふさわしい社内取締役およびグローバルな知見・経験を有する取締役と女性取締役の必要最小限の員数で構成されており、多様性と規模のバランスもとれています。そのうち3人は社外取締役であり、その全員が独立性を有しています。

また監査役は3人で構成され、そのうち2人が社外監査役です。監査役は取締役会のほか重要な会議に出席し、取締役の任務遂行について厳正な監視を行っています。

氏名	現在の地位	企業経営	営業 マーケティング	法務 コンプライアンス	財務・会計	国際性	ESG
小形 明誠	代表取締役社長 社長執行役員	●	●			●	●
高田 揚子	取締役	●					●
野口 浩臣	取締役 常務執行役員		●		●		●
中川 康生	社外取締役			●		●	●
小見山 満	社外取締役				●	●	●
山東 理二	社外取締役	●	●			●	●
西田 豊	常勤監査役				●		●
加々美 博久	社外監査役			●			●
篠塚 久志	社外監査役	●	●			●	●

※各人に特に期待される項目を記載しております。
 ※上記一覧表は、各人の有するすべての知見や経験を表すものではありません。

取締役会の実効性評価

当社では、継続的なグループ企業価値の向上のために、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させることを重視し、毎年、取締役会の実効性を評価しています。

評価方法	前年度に外部機関に依頼した実効性分析結果において、課題となっていた項目の改善状況と新たに生じた課題を確認するために、全ての取締役および監査役を対象にアンケート調査を実施しました。また、取締役会において、アンケートの分析結果に基づき当年度の取締役会の実効性と課題の所在などについて審議を行いました。
評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取締役会の構成と運営 ■ 経営戦略と事業戦略 ■ 企業倫理とリスク管理 ■ 株主との対話 など
評価結果	本年評価の結果、前年度課題として指摘された審議のさらなる充実のための情報提供については、提供される資料について執行側の審議を深めるための仕組みの構築が必要であるとの意見があり、執行役員会とは別の会議体として役付執行役員である統轄役員を主体とした統轄役員会議を取締役会開催前に毎月開催する体制としました。統轄役員会議では、開発、営業、管理の各統轄部門業務の状況、課題について議論を行い、重要な経営課題について取締役会に情報提供を行い、審議を行います。また、同じく前年度の課題として指摘された資本収益性の改善については、資本収益性の現状評価のための情報提供は増えたことが評価された一方で、資本収益性の改善に向けた具体的な取り組み施策についてのさらなる議論が必要との意見がありました。当社取締役会は、これらの課題に関する議論を深め、改善に向けたアクションを図り、取締役会のさらなる実効性向上に取り組んでまいります。



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

ガバナンス

指名・報酬委員会と役員報酬制度

当社のコーポレート・ガバナンス体制を一層充実させることを目的に、取締役会の諮問機関として指名・報酬委員会を運用しています。また、取締役の経営監督や業務執行の機能が適切に発揮されることを目指して、役員に対する報酬制度を設計しています。

指名・報酬委員会

当社は、取締役会の諮問機関として任意の「指名・報酬委員会」を設定しています。取締役、監査役、執行役員の指名・報酬に関して独立社外取締役を委員長とする委員会で議論を行い、その結果を取締役に答申し、指名・報酬の決定に関する手続きの透明性および客観性を確保しています。

また代表取締役社長の後継者計画および後継者候補の育成に係る取締役会の機能や審議プロセスに適切に関与しています。

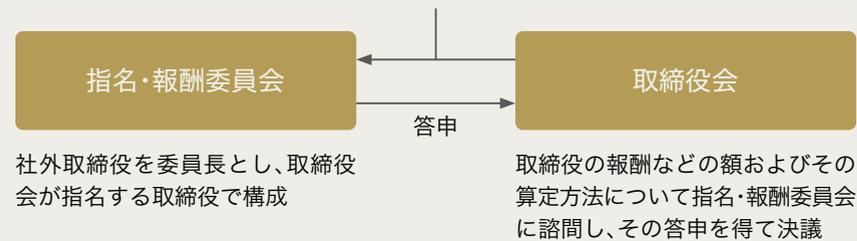
同委員会の構成

- 委員長：社外取締役 中川 康生
- 委員：代表取締役社長 小形 明誠
- 委員：社外取締役 小見山 満

取締役の報酬の決定プロセス

上述のとおり、当社の取締役の報酬などの額およびその算定方法については、指名・報酬委員会に諮問し、その答申を得て取締役会が決議しています。

取締役の個人別の報酬などの内容に係る決定方針に基づく決議する内容について諮問



取締役の個人別の報酬などの決定方針

当社役員の報酬制度は、業界における競争力を維持するとともに、業績向上を図り継続的に企業価値を高め、株主と利害を共有できる、職責や成果を反映した体系となっています。

項目	決定方針
基本報酬	取締役の基本報酬は、月例の固定報酬とし、役位、職責、在任年数に応じて他社水準、当社業績、従業員給与の水準も考慮しながら、総合的に勘案して決定するものとする。社外取締役の報酬などは、業務執行から独立した立場から経営を監督および助言する立場を考慮し、月例の固定報酬のみとし、その額は社外取締役としての責務に相応しいものとし、常勤・非常勤の別やおのおのが果たす役割などを考慮して個別に決定する。
業績連動報酬	年次賞与は中期経営計画において業績指標としている連結売上高、連結営業利益率を基準に経営目標の達成状況などを適切に評価し、これを報酬に反映し、6月に支給するものとする。
業績連動報酬と業績連動報酬以外の報酬の支給割合	取締役(社外取締役を除く)の業績連動報酬としての賞与の支給割合は、客観性・妥当性を担保するために、外部調査機関の役員報酬調査データによる報酬水準・業績連動性の客観的な比較検証を行い、会社の持続成長と中長期的な企業価値向上に寄与するために、最も適切な支給割合となることを方針とする。



役員一覧 (2025年6月25日現在)

取締役および監査役



代表取締役社長
小形 明誠



取締役
高田 揚子



取締役
野口 浩臣



社外取締役
中川 康生



社外取締役
小見山 満



社外取締役
山東 理二



常勤監査役
西田 豊



社外監査役
加々美 博久



社外監査役
篠塚 久志

執行役員

社長執行役員
小形 明誠

専務執行役員
技術統轄
千葉 隆志

常務執行役員
管理統轄 IR担当
野口 浩臣

常務執行役員
営業統轄 兼 国際事業本部長
横田 圭右

常務執行役員
管理副統轄 兼 管理本部長 DX担当
小野田 靖

執行役員
新井 一成

執行役員
村上 慶一

執行役員
桑原 徹也

執行役員
開発本部長
高橋 政樹

執行役員
総務本部長
石川 智子

- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
 - 事業セグメント概要
 - 日東工器のマテリアリティ
 - 中期経営計画 2026
 - Sales Strategy 営業戦略
 - Technology Strategy 技術戦略
 - Management Strategy 管理戦略
 - 人的資本
 - 環境戦略
 - ガバナンス
 - 役員一覧
- 4.データセクション

財務データ・非財務データ（ESG関連データ）



	単位	2023 / 3期	2024 / 3期	2025 / 3期
経営成績				
売上高	百万円	28,091	27,072	27,256
営業利益	百万円	3,459	2,680	2,342
経常利益	百万円	3,612	2,821	2,510
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	2,489	1,841	1,345
設備投資額	百万円	1,405	6,117	6,328
減価償却費	百万円	1,343	1,299	1,270
研究開発費	百万円	1,045	1,001	870

財政状態				
総資産	百万円	66,632	65,066	66,605
純資産	百万円	57,768	57,175	58,183
株主資本	百万円	56,432	54,628	54,875

キャッシュ・フロー				
営業活動によるキャッシュフロー	百万円	2,299	2,307	2,709
投資活動によるキャッシュフロー	百万円	4,652	▲333	▲6,852
財務活動によるキャッシュフロー	百万円	▲1,498	▲3,740	▲1,385
現金および現金同等物の期末残高	百万円	20,403	18,805	13,429

財務指標				
自己資本比率	%	86.68	87.85	87.34
ROE(自己資本利益率)	%	4.39	3.20	2.33

1株あたり情報				
BPS(1株あたり純資産)	円	2,876.49	3,022.27	3,108.44
EPS(1株あたり当期純利益)	円	122.81	93.49	71.86
一株当たり年間配当金	円	53.00	43.00	39.00
配当性向	%	40.7	40.8	54.3

	単位	2023 / 3期	2024 / 3期	2025 / 3期
環境 ※1				
温室効果ガス(GHG)排出量スコープ1	tCO ₂	846	792	840
温室効果ガス(GHG)排出量スコープ2	tCO ₂	4,944	4,143	3,693
温室効果ガス(GHG)排出量スコープ3	tCO ₂	-	77,321	87,245

社会				
従業員数	人	1,021	1,014	1,052
(うち国内従業員数)		728	735	762
キャリア採用比率※2	%	45.2	73.8	33.9
有給休暇取得率※2	%	62.7	59.7	62.0
離職率※2	%	5.3	8.1	6.7
女性管理職比率※2	%	6.9	6.2	6.2
育児休業取得者数※2	人	10	12	19
男性育児休業取得率※2	%	27.3	33.3	71.4

ガバナンス ※3				
取締役人数	人	5	6	6
社外取締役比率	%	40	50	50
女性取締役比率	%	20.0	16.7	16.7
監査役人数	人	3	3	3
社外監査役比率	%	66.7	66.7	66.7

※1 2025年7月時点で算定可能なデータに限る

※2 日東工器グループ国内会社

※3 日東工器株式会社

1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

財務・非財務データ(ESG関連データ)

事業拠点

会社概要 / 株式情報

事業拠点



本社



オーストラリア



アメリカ



ドイツ



イギリス



1.日東工器とは

2.日東工器の価値創造ストーリー

3.日東工器のサステナビリティ経営

4.データセクション

財務・非財務データ (ESG関連データ)

事業拠点

会社概要 / 株式情報

国内販売・物流拠点

- 本社・研究所／東日本支社／東京第一支店・東京第二支店
東京都大田区仲池上二丁目9番4号
- 西日本支社／大阪第一支店・大阪第二支店
大阪府大阪市東成区深江北二丁目10番10号
- 西日本物流センター
大阪府大阪市鶴見区浜三丁目3番12号
- 中日本支社／名古屋支店
愛知県名古屋市名東区社台三丁目173番2号
- 札幌支店
北海道札幌市白石区東札幌五条一丁目3番10号
- 仙台支店
宮城県仙台市若林区卸町三丁目2番4号
- 新潟支店
新潟県新潟市中央区女池神明三丁目4番10号
- 松本支店
長野県松本市島内4082番7号
- 北関東支店
群馬県伊勢崎市柳原町76番1号
- 静岡支店
静岡県静岡市葵区沓谷六丁目15番4号
- 浜松支店
静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1341番地
- 三河支店
愛知県岡崎市大門五丁目7番地3
- 北陸支店
富山県高岡市戸出町三丁目1番26号
- 京都支店
京都府京都市伏見区竹田北三ツ杭町31番地
- 高松支店
香川県高松市松縄町51番13号
- 岡山支店
岡山県岡山市北区辰巳17番101号
- 広島支店
広島県広島市西区三滝町3番1号
- 福岡支店
福岡県福岡市博多区東光寺町一丁目12番9号

生産拠点

- 東北日東工器株式会社
福島県福島市大笹生字宮ノ下1番1号
- 栃木日東工器株式会社
栃木県さくら市氏家3473番2号
- NITTO KOHKI INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
64.64/1 Moo 9 Rojana Industrial Park, Rojana Road, Thanu Sub-district, U-thai District, Ayutthaya 13210, Thailand

海外販売拠点

- アメリカ
 - NITTO KOHKI U.S.A., INC.
46 Chancellor Drive, Roselle, Illinois 60172, U.S.A.
- ヨーロッパ、アフリカ、中東
 - NITTO KOHKI EUROPE GMBH
Gottlieb-Daimler-Str. 10, 71144 Steinenbronn, Germany
 - NITTO KOHKI EUROPE GMBH UK Branch
Unit A5, Langham Park Industrial Estate, Maple Road, Castle Donington, Derbyshire DE74 2UT, United Kingdom
- 東アジア
 - 日東工器省力機器貿易(上海)有限公司
Room 2602, Shanghai International Trade Centre, No.2201 Yan An West Road, Shanghai 200336, China
 - 日東工器省力機器貿易(上海)有限公司-深圳分公司
Room 708, Building 1, Wanting Building, No. 2009 Baoyuan Road, Baoan District, Shenzhen, Guangdong 518102, China
- 東南アジア
 - 日東工器株式会社 シンガポール支店
18, Kaki Bukit Road 3, #02-12, Entrepreneur Business Centre, Singapore 415978
 - 日東工器株式会社 バンコク事務所
2 Jasmine Building, 22nd Floor, Soi Prasarnmitr (Sukhumvit23), Sukhumvit Road, North Klongtoey, Wattana, Bangkok 10110, Thailand
 - NITTO KOHKI INDIA PVT LTD
Unit No. 605, 6th Floor, Global Foyer mall, Sec-43, Gurugram, Haryana 122002, India
 - 日東工器株式会社 インドネシア事務所
Plaza Marein 23rd Floor Jl. Jend. Sudirman Kav. 76-78, Jakarta 12910, Indonesia
- オセアニア
 - NITTO KOHKI AUSTRALIA PTY LTD
77 Brandl Street, Eight Mile Plains, Queensland 4113, Australia

会社概要／株式情報

会社概要

社名	日東工器株式会社
代表者	代表取締役社長 小形 明誠
所在地	〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号
設立	1956年(昭和31年)10月22日
資本金	18億5032万円
従業員数	連結1,052名／単体468名(2025年3月末)

社名・マークの由来



社名

「日本の東部にあり、省力化を願った工具を作ること」を念頭に、創業者の御器谷俊雄の「器」から名づけられました。また漢字の会社名表示は、左右対称の文字で構成されています。会社が成長する際、内容が充実し、バランスのとれたユニークな会社になることを願って定めたものです。



シンボルマーク

日東工器のイニシャル「N」に無限大の記号「∞」を重ね合わせた「無限大マーク」の外側にタービンプレードを図案化して配したものです。「無限の可能性を信じ、常に知性と勇気の強いパワーによって回転し、前進していこう」とする企業姿勢を象徴しています。

大株主の状況 (2025年3月31日現在)

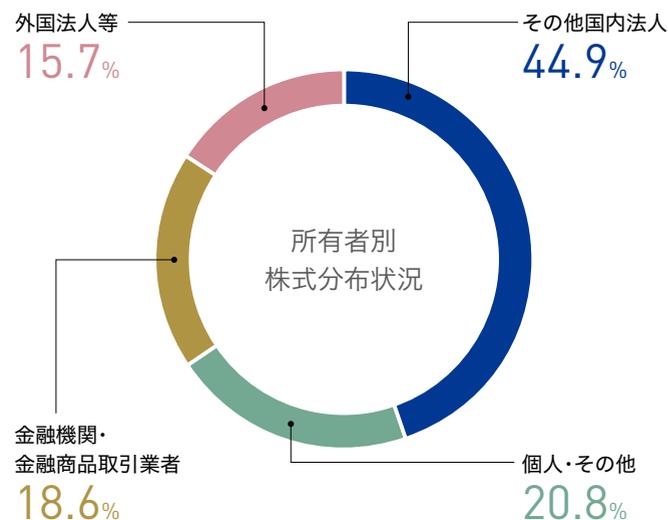
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)四捨五入
株式会社日器	7,272	38.9
THE SFP VALUE REALIZATION MASTER FUND LTD.	1,302	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (リテール信託口・株式管理)	1,241	6.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,123	6.0
御器谷 春子	687	3.7
高田 揚子	646	3.5
株式会社三菱UFJ銀行	596	3.2
有限会社ミキヤコーポレーション	565	3.0
有限会社ミキヤエンタープライズ	415	2.2
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SPECIAL OMNIBUS SECS LENDING ACCOUNT	380	2.0

※持株数は切り捨て、持株比率は四捨五入。自己株式は上記株主から除外。持株比率は、自己株式(440千株)を控除して計算しております。

株式情報

上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	6151
発行可能株式総数	51,958,200株
発行済株式総数	19,154,495株(自己株式440千株を含む)
株主数	4,277名
基準日	毎年3月31日
単元株式数	100株
株主名簿管理人特別 口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

株式の状況 (2025年3月31日現在)



- 1.日東工器とは
- 2.日東工器の価値創造ストーリー
- 3.日東工器のサステナビリティ経営
- 4.データセクション
 - 財務・非財務データ (ESG関連データ)
 - 事業拠点
 - 会社概要 / 株式情報

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

〒146-8555 東京都大田区仲池上二丁目9番4号

<https://www.nitto-kohki.co.jp>